



取扱説明書

ver.1.4.0

はじめに

このたびは、「MIRACLE VISUAL STATION」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「MIRACLE VISUAL STATION」は、コンテンツの作成から再生まで行えるデジタルサイネージ製品です。

Linuxベースのデジタルサイネージプレイヤーを最大限に活用できるように開発されており、従来の製品と比べて低価格で、安定した動作を実現しました。

本書は、「MIRACLE VISUAL STATION」が持つ機能を有効に活用いただけるように構成しました。機能の概要をはじめ、各設定画面、使用上の注意、操作画面の手順などを説明しています。

なお、本書は以下のバージョンに対応しております。

HW・SW	バージョン
MVSプレイヤー	Embedded MIRACLE Digital Signage Edition 1.3.60以上
EMPopMaker	2.6.19

お読みいただく際の注意

- 画面および操作手順は、予告なく変更されることがあります。
- Linux[®]は、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。会社名、商品名等は各社の商標または登録商標です。

マークの説明



特に注意していただきたい内容です。



説明に対して補足的な内容です。



「EMPopMaker PC版」における操作方法についての内容です。
「EMPopMaker PC版」については、「[1.2 MIRACLE VISUAL STATIONの構成](#)（10ページ）を参照してください。

マニュアルの使い方

本製品を初めてお使いになる方は、はじめから順にお読みください。これまでにお使いで、特定の機能についての説明を確認したい方は、必要に応じてお読みいただいても構いません。

「MIRACLE VISUAL STATION」について

→ 「1. MIRACLE VISUAL STATIONの概要」(9ページ)

「MIRACLE VISUAL STATION」を使用するには

→ 「2. 「MVSプレイヤー」使用の準備」(25ページ)

→ 「3. 「MVSプレイヤー」の設定」(31ページ)

「MIRACLE VISUAL STATION」でコンテンツを作成するには

→ 「4. MVSコンテンツ管理ツールでのコンテンツ作成」(36ページ)

「MIRACLE VISUAL STATION」でコンテンツを再生するには

→ 「5. コンテンツの再生」(58ページ)

その他の便利機能を使用するには

→ 「6. 便利機能の活用」(64ページ)

困ったときは

→ 「7. その他の情報」(154ページ)

用語定義一覧

用語	説明
MIRACLE VISUAL STATION	コンテンツの作成から再生まで行えるデジタルサイネージ製品。 「MVSプレイヤー」と「EMPpopMaker」で構成される。 MVSは、「MIRACLE VISUAL STATION」の略。
MVSプレイヤー	動画や静止画、またはそれらを組み合わせたデジタルサイネージデータ(=コンテンツ)を再生するためのハードウェア。
EMPpopMaker	動画、静止画などを組み合わせたコンテンツの作成、また作成したコンテンツの再生スケジュールを作成するためのソフトウェア。 「コンテンツ管理ソフトウェア」ともいう。 「MVSプレイヤー」に搭載されている「EMPpopMaker プレイヤー版」とWindows PCで動作する「EMPpopMaker PC版」がある。
PC	本マニュアル内では、Windows Vista、Windows 7、Windows 8の総称。
コンテンツ素材	動画、静止画、Flash、URLファイル、テロップ(テキストファイル)といった、コンテンツを作成するためのファイル。
コンテンツ	コンテンツ素材(動画、静止画など)を組み合わせたデジタルサイネージデータ。
コンテンツフォルダ	「MVSプレイヤー」に存在する、コンテンツ素材やコンテンツが格納されているディレクトリ。

改訂履歴

バージョン	日付	変更内容
1.0.0	2011/10/1	新規作成
1.1.0	2012/3/1	新バージョンに伴う追記
1.2.0	2012/6/29	縦2テンプレートの追加による説明を追加
1.3.0	2013/11/29	新バージョンに伴う更新
1.4.0	2015/4/16	新バージョンに伴う修正

目次

はじめに.....	2
1. MIRACLE VISUAL STATION の概要	9
1.1 特長.....	9
1.2 MIRACLE VISUAL STATION の構成.....	10
1.2.1 構成内容	11
1.2.2 スタンドアロンの構成	12
1.2.3 ネットワークを使った構成	13
1.3 コンテンツの作成と管理.....	14
1.3.1 コンテンツ作成から再生までの流れ	14
1.3.2 「EMPopMaker プレイヤー版」による作成と管理.....	15
1.3.3 「EMPopMaker PC 版」による作成と管理.....	16
1.3.4 プレイヤー版と PC 版の違い	17
1.4 コンテンツの再生方法	18
1.4.1 「MVS プレイヤー」で作成して再生.....	18
1.4.2 USB メモリからダイレクト再生	19
1.4.3 コンテンツを「MVS プレイヤー」にコピーして再生.....	20
1.4.4 ネットワークからコンテンツを再生	21
1.5 再生できるファイルの種類	23
1.5.1 再生できる動画・音声ファイルの形式.....	23
1.5.2 再生できる静止画ファイルの形式.....	24

2. 「MVSプレイヤー」使用の準備	25
2.1 用意するもの	25
2.2 使用上の注意	26
2.3 起動と終了	27
2.3.1 起動する	27
2.3.2 終了する	27
2.3.3 画面の見かた	27
2.3.4 ヘルプの見かた	28
2.4 お買い上げ時の状態	28
2.4.1 現在の状態を表示する	28
3. 「MVSプレイヤー」の設定	31
3.1 システム設定	31
3.2 ネットワーク設定	32
3.3 画面設定	33
3.4 マニュアル再生	33
3.5 コンテンツ	34
3.6 管理	35
4. MVS コンテンツ管理ツールでのコンテンツ作成	36
4.1 コンテンツの作成	36
4.2 タイムテーブルの作成	46
4.3 スケジュールの作成	51
4.3.1 ユーザー定義タイムテーブルの配置	51
4.3.2 非再生日タイムテーブルの配置	56
5. コンテンツの再生	58

5.1 「EMPopMaker プレイヤー版」で作成したコンテンツの再生方法	59
6. 便利機能の活用	64
6.1 環境設定に関する便利機能	64
6.1.1 ネットワークに接続するには	64
6.1.2 画面解像度を変更するには	66
6.1.3 ディスプレイを縦置きにするには	68
6.1.4 起動時に再生するコンテンツを指定するには	70
6.1.5 ソフトウェアをアップデートするには	74
6.2 コンテンツ素材の追加・削除に関する便利機能	75
6.2.1 「MVS プレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには	75
6.2.2 「MVS プレイヤー」からコンテンツ素材を削除するには	79
6.3 コンテンツ素材の再生に関する便利機能（クイックプレイ）	80
6.3.1 USB メモリの自動再生	81
6.3.2 USB メモリの手動再生	84
6.3.3 コンテンツフォルダの手動再生	87
6.3.4 PC のコンテンツ素材の手動再生	90
6.4 コンテンツに関する便利機能	94
6.4.1 縦 1 のテンプレートを使用してコンテンツを作成するには	94
6.4.2 縦 2 のテンプレートを使用してコンテンツを作成するには	97
6.4.3 コンテンツの編集・削除をするには	102
6.4.4 コンテンツ全体の詳細な設定をするには	107
6.4.5 各フレームの詳細な設定をするには	112
6.4.6 1 つのフレームに同一のコンテンツ素材を設定するには	119
6.4.7 フレームに設定されているコンテンツ素材を並べ替えるには	121

6.4.8 フレームに設定されているコンテンツ素材を個別に削除するには....	123
6.4.9 フレームに設定されているコンテンツ素材をすべて削除するには....	125
6.4.10 各コンテンツ素材の表示時間とコンテンツ終了のタイミングの関係性	127
6.4.11 「MVS プレイヤー」間でコンテンツをコピーするには.....	129
6.5 タイムテーブルに関する便利機能	131
6.5.1 タイムテーブルを編集するには	131
6.5.2 タイムテーブルを削除するには	135
6.5.3 タイムテーブルを確認するには	138
6.5.4 コンテンツ終了のタイミングとタイムテーブルの関係性	141
6.6 スケジュールに関する便利機能.....	144
6.6.1 スケジュールを編集するには.....	144
6.6.2 スケジュールを削除するには.....	148
6.6.3 スケジュールを確認するには.....	151
7. その他の情報.....	154
7.1 よくある質問	154
7.2 困ったときには.....	157
7.3 画面解像度設定のショートカットキー	159

1. MIRACLE VISUAL STATIONの概要

「MIRACLE VISUAL STATION」は、コンテンツの作成から再生まで行えるデジタルサイネージ製品です。

「MIRACLE VISUAL STATION」設定メニューから簡単な操作でコンテンツを再生することができます。

1.1 特長

- **H.264 フル HD 対応**

フルHD（1920×1080ピクセル）の動画を再生できます（一部機種を除く）。

- **滑らかなテロップ表示**

見やすい滑らかなテロップを表示できます。

- **主要な動画／音声コーデックを搭載**

一般的に広く利用されている動画／音声コーデックを搭載しています。

- **コンテンツ作成機能を搭載**

数ステップで簡単にコンテンツを作成できます。

- **長時間連続使用を目的とした自己監視機能**

無人になる場所および夜間の使用を考慮して、長時間の連続使用を可能にする自己監視機能を標準で搭載しています。

- **USB メモリによるコンテンツ素材の自動再生**

静止画ファイルや動画ファイルなどのコンテンツ素材を格納したUSBメモリを「MVSプレイヤー」に挿入することにより、静止画のクロスフェード再生や動画の連続再生ができます。

- **複数言語テロップ**

再生するコンテンツのテロップに、日本語、英語、中国語（簡体中国語、繁体中国語）、韓国語を使用できます。

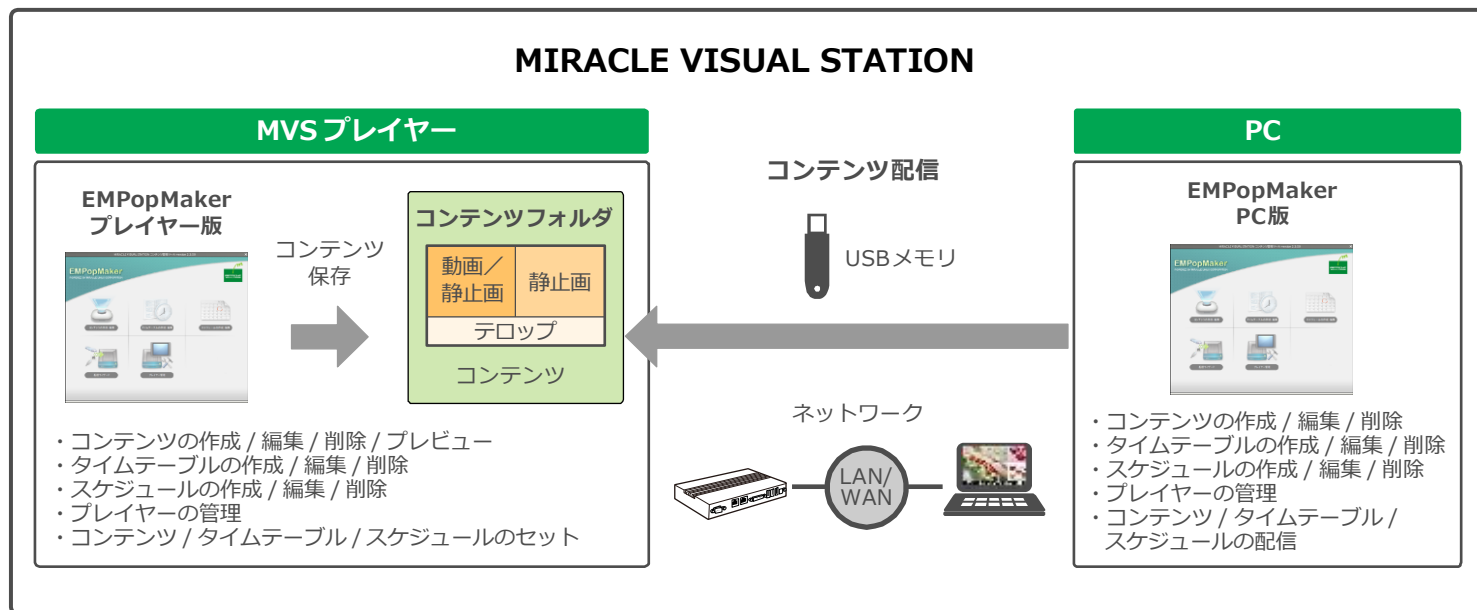


コンテンツ再生イメージ

1.2 MIRACLE VISUAL STATIONの構成

「MIRACLE VISUAL STATION」は、「MIRACLE VISUAL STATIONプレイヤー」（以下、MVSプレイヤー）と、コンテンツの作成や管理をするソフトウェア「EMPopMaker」で構成されています。

コンテンツの作成や管理を行うEMPopMakerは、「MVSプレイヤー」に搭載されているプレイヤー版とPC上で動作するPC版の2種類があります。



1.2.1 構成内容

- **MVS プレイヤー**

「MVSプレイヤー」は、動画や静止画、またはそれらを組み合わせたデジタルサイネージデータ（以下、コンテンツ）を再生するためのハードウェアです。

- **EMPopMaker プレイヤー版**

「EMPopMaker プレイヤー版」は、コンテンツの作成からタイムテーブル、配信スケジュールの設定が簡単にできる、コンテンツ管理ソフトウェアです。「EMPopMaker プレイヤー版」は、「MVSプレイヤー」に搭載されています。

- **EMPopMaker PC 版**

「EMPopMaker PC版」は、Windows PC（以下、PC）で使用するソフトウェアです。コンテンツの作成のほか、ネットワークによる配信や「MVSプレイヤー」の管理などができます。Windows Vista、Windows 7、Windows 8に対応しています。

「EMPopMaker PC版」で作成したコンテンツは、USBメモリまたはネットワークで「MVSプレイヤー」に配信して、再生します。

- **コンテンツフォルダ**

作成したコンテンツを保存しておく「MVSプレイヤー」内のフォルダです。

1.2.2 スタンドアローンの構成

「MVSプレイヤー」を単体で使用、または「MVSプレイヤー」とPCを接続して使用することができます。

●「MVSプレイヤー」単体の構成

「MVSプレイヤー」にディスプレイ、キーボード、マウスを接続して、コンテンツの作成、再生ができます。



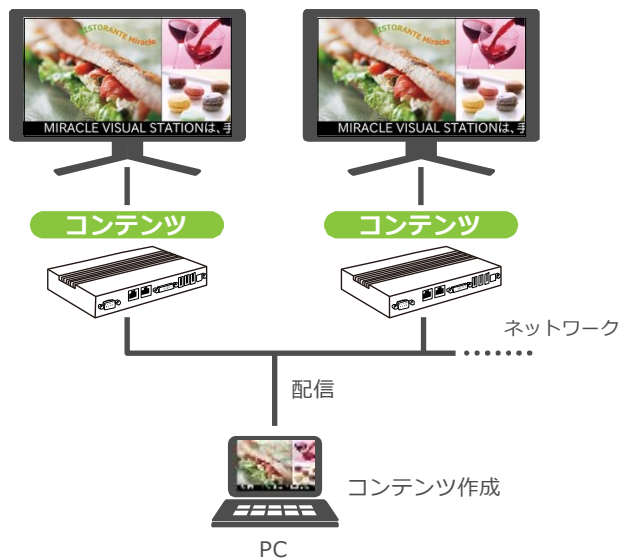
●「MVSプレイヤー」とPCを使った構成

「EMPPopMaker PC版」で作成したコンテンツをUSBメモリに保存し、「MVSプレイヤー」に挿し込むだけで簡単に再生できます。



1.2.3 ネットワークを使った構成

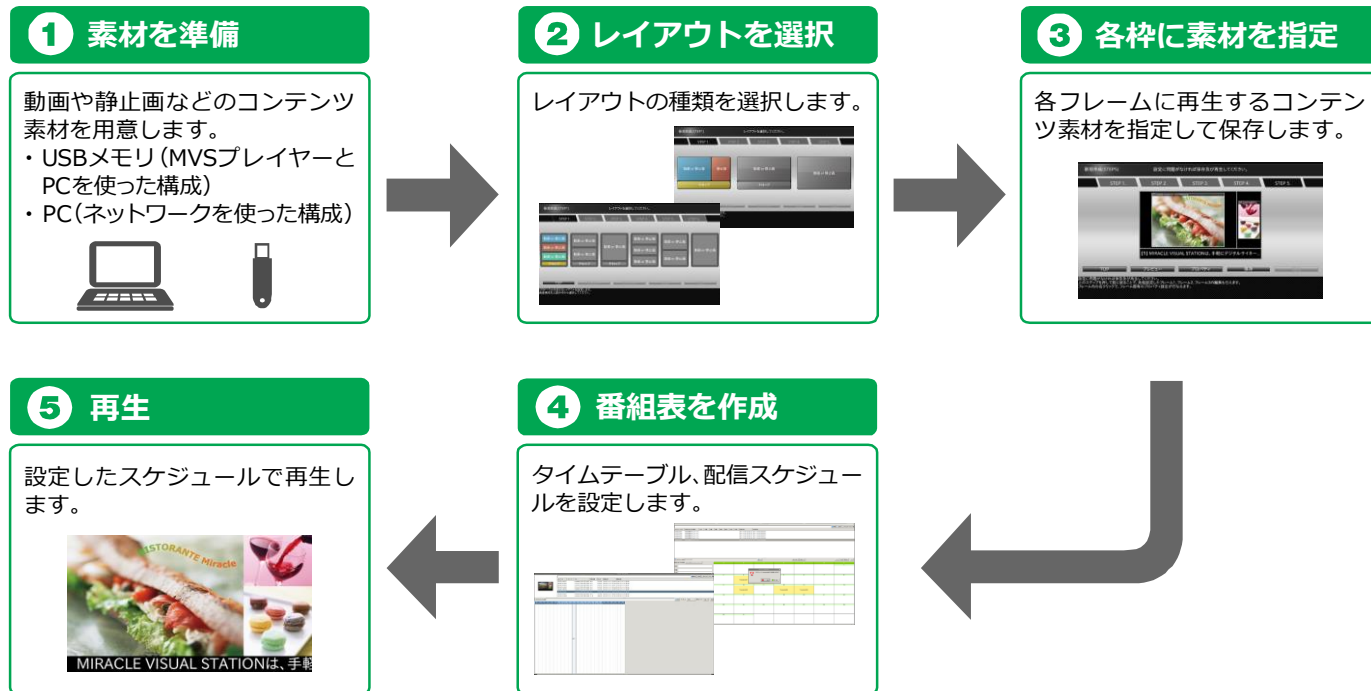
「EMPopMaker PC版」で作成したコンテンツを、ネットワークで「MVSプレイヤー」に配信して、再生できます。複数の「MVSプレイヤー」を管理することもできます。



1.3 コンテンツの作成と管理

コンテンツの作成と管理は、EMPopMakerで行います。EMPopMakerには、「MVSプレイヤー」上で動作する「EMPopMaker プレイヤー版」と、PC上で動作する「EMPopMaker PC版」があります。

1.3.1 コンテンツ作成から再生までの流れ



1.3.2 「EMPopMaker プレイヤー版」による作成と管理

「MVSプレイヤー」上で再生するコンテンツ/タイムテーブル/スケジュールを作成できます。

●コンテンツの作成/編集/削除

「MVSプレイヤー」で再生するコンテンツを作成します。作成したコンテンツは編集や削除ができます。



「EMPopMaker プレイヤー版」では、作成したコンテンツをプレビューして確認することができます。

●タイムテーブルの作成/編集/削除

コンテンツを再生する時間はタイムテーブルで管理します。タイムテーブルでは、1日の中でコンテンツ再生開始時間、終了時間を設定します。設定したタイムテーブルは編集や削除ができます。

●スケジュールの作成/編集/削除

コンテンツを再生する日はスケジュールで管理します。スケジュールでは、タイムテーブルで設定した時刻を再生する年月日/曜日/全日(毎日)に設定することができます。設定したスケジュールは編集や削除ができます。

1.3.3 「EMPopMaker PC版」による作成と管理

「EMPopMaker プレイヤー版」と同様に「MVSプレイヤー」で再生するコンテンツ、タイムテーブル、スケジュールを作成できます。さらに、「EMPopMaker PC版」では、ネットワークに接続された「MVSプレイヤー」を管理して、コンテンツ/タイムテーブル/スケジュールを配信できます。

「EMPopMaker PC版」で作成したコンテンツを再生したり、タイムテーブルとスケジュールを設定したりするには、「MVSプレイヤー」に配信する必要があります。

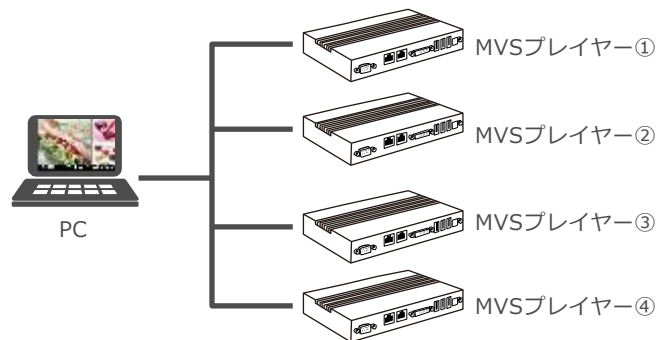
ここでは、「EMPopMaker PC版」だけが持っている機能を説明します。

●USB メモリへのコンテンツ保存

作成したコンテンツは、USBメモリに保存できます。「MVSプレイヤー」では、USBメモリからコンテンツを直接読み込んで再生したり、コンテンツをコピーして再生したりできます。

●「MVSプレイヤー」管理

ネットワークに接続された「MVSプレイヤー」を登録して、特定のプレイヤーグループに特定のコンテンツを配信するなど、ネットワークから配信を管理できます。「EMPopMaker PC版」で作成したコンテンツ、タイムテーブル、スケジュールをネットワーク配信する際に使用します。



詳しくは、『EMPopMaker PC版 簡易操作マニュアル』を参照してください。

●コンテンツ/タイムテーブル/スケジュールのネットワーク配信

「EMPopMaker PC版」で作成したコンテンツ/タイムテーブル/スケジュールを、ネットワークで「MVSプレイヤー」に配信します。



「EMPopMaker プレイヤー版」では、ネットワークでコンテンツ/タイムテーブル/スケジュールを配信できません。

1.3.4 プレイヤー版とPC版の違い

「EMPopMaker プレイヤー版」と「EMPopMaker PC版」の機能には、次の違いがあります。

機能	EMPopMaker プレイヤー版	EMPopMaker PC版
コンテンツの作成/編集/削除	○	○
プレビュー	○	×
タイムテーブルの作成/編集/削除	○	○
スケジュールの作成/編集/削除	○	○
MVSプレイヤー管理	×	○
コンテンツ/タイムテーブル/ スケジュールのネットワーク配信	×	○

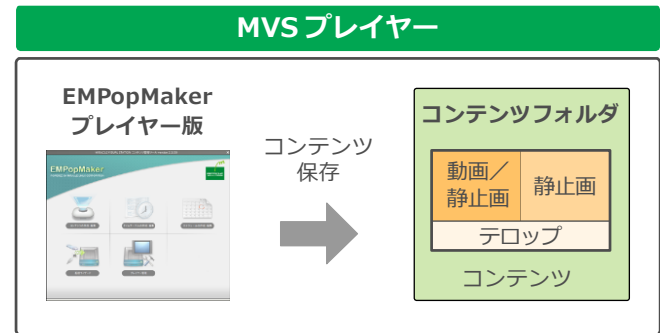
1.4 コンテンツの再生方法

コンテンツを再生するには、次の4つの方法があります。

- 「MVSプレイヤー」で作成して再生する
→ 「1.4.1 「MVSプレイヤー」で作成して再生」(18ページ)
- USBメモリからダイレクトに再生する
→ 「1.4.2 USBメモリからダイレクト再生」(19ページ)
- USBメモリからコンテンツをコピーして再生する
→ 「1.4.3 コンテンツを「MVSプレイヤー」にコピーして再生」(20ページ)
- ネットワークからコンテンツを配信して、再生する
→ 「1.4.4 ネットワークからコンテンツを再生」(21ページ)

1.4.1 「MVSプレイヤー」で作成して再生

「EMPopMaker プレイヤー版」でコンテンツ/タイムテーブル/スケジュールを作成し、コンテンツフォルダに保存して再生します。



「EMPopMaker プレイヤー版」で作成したコンテンツの再生イメージ図

1.4.2 USBメモリからダイレクト再生

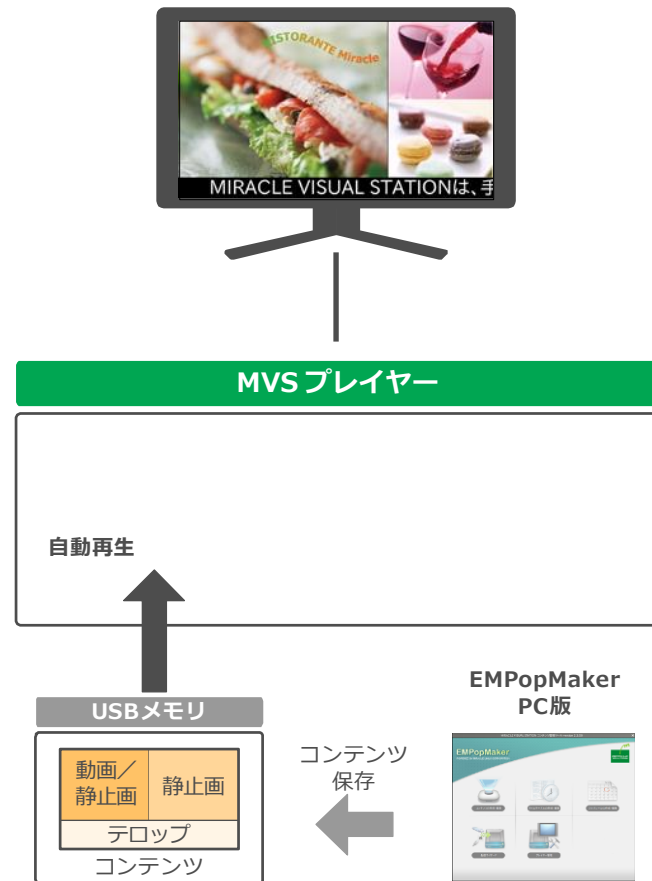
PC上で作成したコンテンツを保存したUSBメモリからコンテンツを直接読み込んで再生できます。USBメモリを挿し込むと自動的にコンテンツが再生されます。USBメモリを抜くとコンテンツの再生が終了します。



ダイレクト再生は、「EMPopMaker PC版」でコンテンツをUSBメモリに保存する際に設定します。



コンテンツをUSBメモリに保存できるのは「EMPopMaker PC版」だけです。「EMPopMaker プレイヤー版」で作成したコンテンツをUSBメモリに保存することはできません。



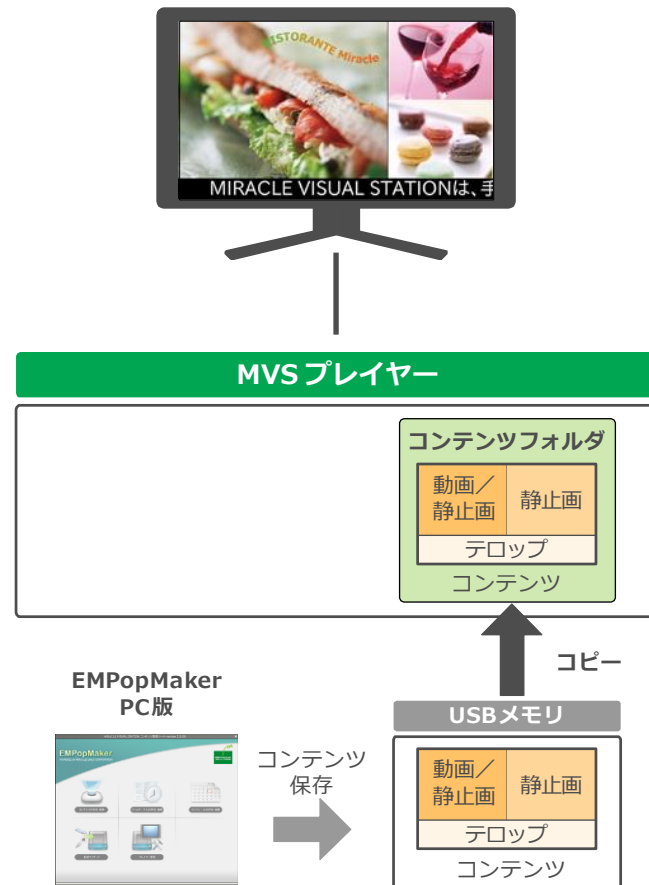
USBメモリダイレクト再生のイメージ図

1.4.3 コンテンツを「MVSプレイヤー」にコピーして再生

USBメモリに保存したコンテンツを「MVSプレイヤー」のコンテンツフォルダにコピーしてから再生します。USBメモリを挿し込むとコピー画面が表示され、コピーが開始されます。コピーが完了し、USBメモリを抜くとコンテンツの再生が開始されます。



コピーして再生するには、「EMPopMaker PC版」でコンテンツをUSBメモリに保存する際に設定します。



USBメモリからコピーして再生のイメージ図

1.4.4 ネットワークからコンテンツを再生

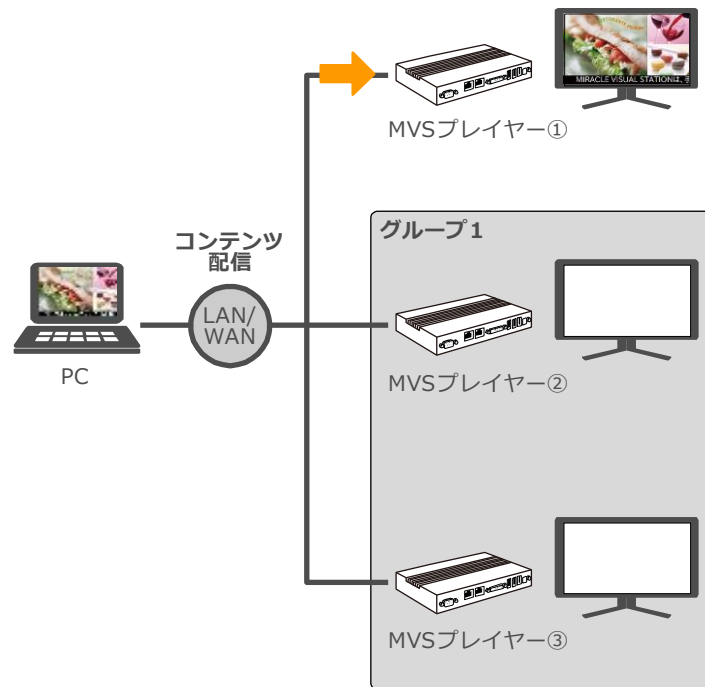
「EMPopMaker PC版」で作成したコンテンツ/タイムテーブル/スケジュールは、ネットワーク経由で「MVSプレイヤー」に配信できます。以下の3通りの配信方法があります。



ネットワークでコンテンツを配信できるのは「EMPopMaker PC版」だけです。「EMPopMaker プレイヤー版」で作成したコンテンツをネットワーク配信することはできません。

●単一配信

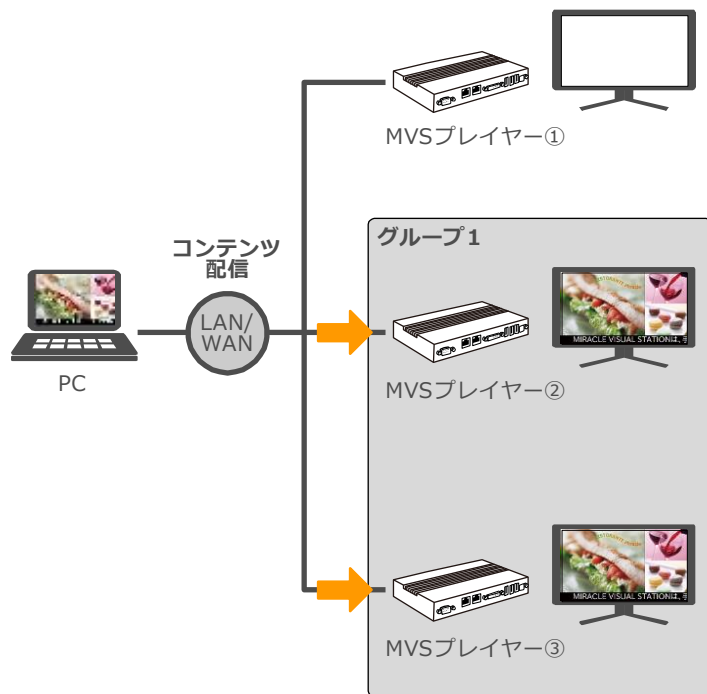
1台の「MVSプレイヤー」を指定して、コンテンツを配信します。



単一配信のイメージ図

●グループ配信

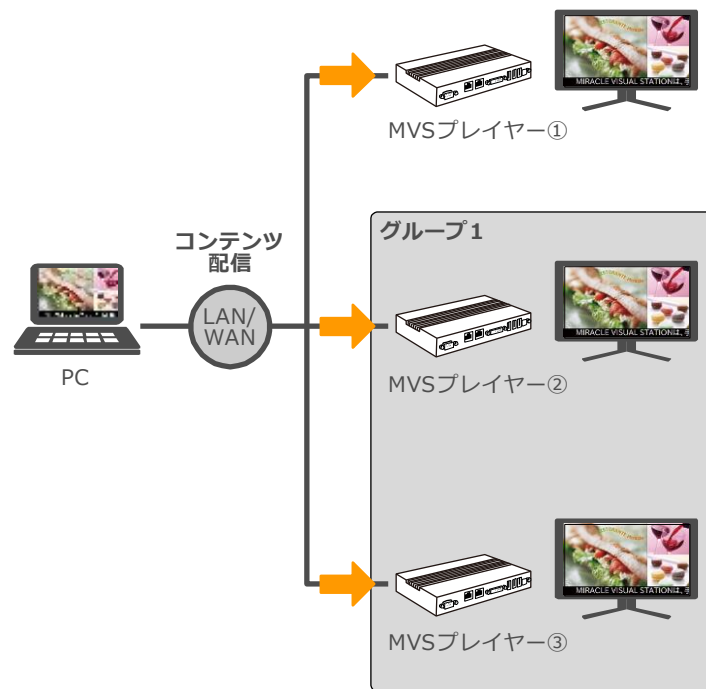
複数の「MVSプレイヤー」をグループに登録して、特定のグループに対してコンテンツを配信することができます。



グループ配信のイメージ図

●全端末配信

プレイヤー管理に登録されているすべての「MVSプレイヤー」にコンテンツを配信します。



全端末配信のイメージ図

1.5 再生できるファイルの種類

「MVSプレイヤー」で再生できる動画・音声・静止画の形式およびその他の仕様を説明します。

1.5.1 再生できる動画・音声ファイルの形式

ファイル拡張子は、コーデックやファイル形式に応じて以下の表で指定された拡張子を使用してください。

一般的な呼び名	拡張子	コンテナ形式	映像コーデック	音声コーデック	再生方式
H.264/MPEG4	mp4	MP4	H.264	AAC	ハードウェア
	m4v	MP4	H.264	なし	
	mov	MOV	H.264	AAC	
Windows Media Video	wmv	ASF	WMV (VC-1)	WMA	
MPEG4/MPEG4.2	mp4p2	MP4	MPEG4	AAC	
MPEG2	m2p	MPEG-2 PS	MPEG2	MPEG-1 Layer2	
	mpg	MPEG-2 PS	MPEG2	MPEG-1 Layer2	
	m2v	MPEG-2 PS	MPEG2	なし	
	mpgp2	MPEG-2 PS	MPEG2	MPEG-1 Layer2	
	m2t	MPEG-2 TS	MPEG2	なし	
	m2tp2	MPEG-2 TS	MPEG2	MPEG-1 Layer2	
	mpgaac	MPEG-2 PS	MPEG2	AAC	
	m2taac	MPEG-2 TS	MPEG2	AAC	
H.264/MPEG4	mp4sw	MP4	H.264	AAC	ソフトウェア
	m4vsw	MP4	H.264	なし	
	movsw	MOV	H.264	AAC	
Windows Media Video	wmvsw	ASF	WMV (VC-1)	WMA	ソフトウェア

一般的な呼び名	拡張子	コンテナ形式	映像コーデック	音声コーデック	再生方式
MPEG4/MPEG4.2	mp4p2sw	MP4	MPEG4	AAC	
MPEG2	m2vsw	MPEG-2 PS	MPEG2	なし	
	m2tsw	MPEG-2 TS	MPEG2	なし	
	mpgaacsw	MPEG-2 PS	MPEG2	AAC	
	m2taacsw	MPEG-2 TS	MPEG2	AAC	
	mpgp2sw	MPEG-2 PS	MPEG2	MPEG-1 Layer2	
	m2tp2sw	MPEG-2 TS	MPEG2	MPEG-1 Layer2	
Theora	ogv	Ogg	Theora	Vorbis	

1.5.2 再生できる静止画ファイルの形式

ファイル形式	拡張子
JPEG	jpg
PNG	png
GIF	gif

2. 「MVSプレイヤー」使用の準備

「MVSプレイヤー」を使用する前に必ず確認していただきたい点について説明します。

2.1 用意するもの

「MVSプレイヤー」でコンテンツを再生するには、次のものをご用意ください。

- ディスプレイ（DVI、HDMI、D-Sub15入力対応）
- ディスプレイケーブル（DVI、HDMI、D-Sub15入力対応）
- USBキーボード
- USBマウス

また、PCで作成したコンテンツを配信して、再生するには、接続形態に応じて次のものをご用意ください。

- USBメモリ
- PC
- ネットワーク環境

接続方法は、プレイヤーの機種によって異なります。以下のホームページをご参照ください。

ミラクル・リナックスホームページ

<https://www.miraclelinux.com/jp/product-service/digital-signage/lineup>



ディスプレイが正常に動作しないときは、「7.2 困ったときには」（157 ページ）を参照してください。



ディスプレイを縦置きにした場合、動画または音声ファイルの種類によっては正しく再生できない場合があります。対処方法として、再生方式をソフトウェアに変更してから再生してください。再生方式については、「1.5.1 再生できる動画・音声ファイルの形式」（23 ページ）を参照してください。



FAT でフォーマットした USB メモリをご使用ください。



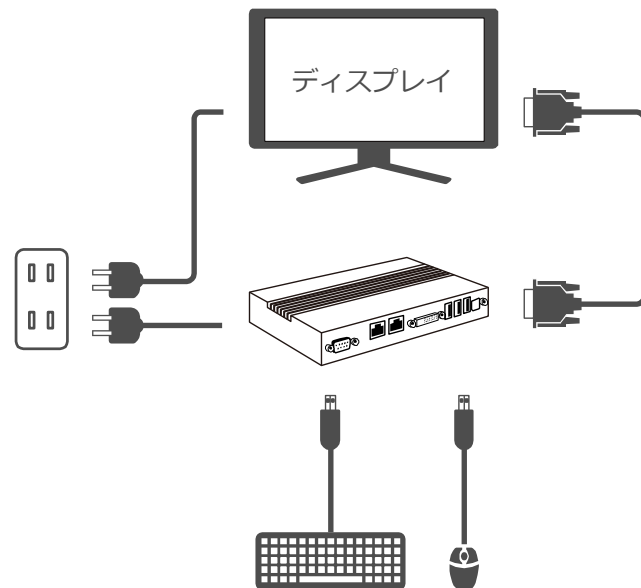
USB メモリのラベルには、空白文字を入れないでください。

2.2 使用上の注意

- 電源を入れる前にプレイヤー本体とディスプレイが正しく接続されているかどうかを確認してください。
- 本書では、「MVSプレイヤー」に関しての説明を記載しています。ディスプレイおよび周辺機器についての説明は製品に付属している取扱説明書をお読みください。
- コンテンツ素材には、動画・音声・静止画・Flash・URL・テロップが含まれます。コンテンツ素材は、別途お客様が用意する必要があります。
- デバッグモードは、「有効」に設定しないでください。
- 解像度の設定では、「手動(高度な設定)」を使用しないでください。
- 「MVSプレイヤー」を設定したり、操作したりするときにはUSBマウスとUSBキーボードが必要です。

※コンテンツ再生中など、設定、操作しないときは取り外しが可能です。

- 「MVSプレイヤー」には、ディスプレイケーブルは同梱されておりません。DVI、HDMI、D-Sub15入力に対応するディスプレイケーブルを別途準備してください。



「MVSプレイヤー」の接続例

2.3 起動と終了

お使いのプレイヤーの機種により電源の入れ方、および切り方が異なります。詳しくは、ホームページを参照してください。

ミラクル・リナックスホームページ

<https://www.miraclelinux.com/jp/product-service/digital-signage/lineup>

2.3.1 起動する

プレイヤーの電源を入れ「MVSプレイヤー」を起動します。プレイヤーが起動すると、設定メニューの「トップ」画面が表示されます。



2.3.2 終了する

プレイヤーの電源を切りMIRACLE VISUAL STATIONを終了します。



2.3.3 画面の見かた

画面は4つのエリアに分かれています。メニューエリアにあるボタンをクリックするとそれぞれの設定画面が表示されます。設定画面では、メインエリアに項目が表示されるので、必要な値を選択または設定します。

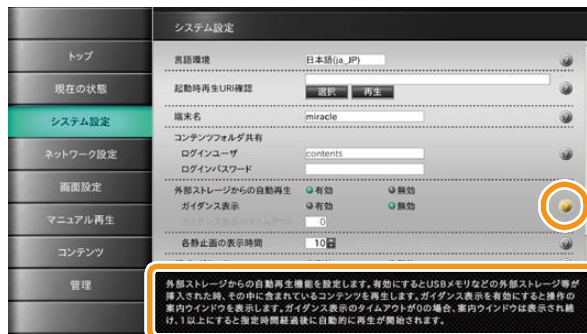


項目名	説明
メニューエリア	メニューをクリックするとメインエリアに各設定画面が表示されます。
タイトルエリア	設定メニューの画面タイトルが表示されます。
メインエリア	設定画面に応じて項目を設定します。
メッセージエリア	操作に応じた説明文が表示されます。

2.3.4 ヘルプの見かた

メインエリアにある項目の右側にヘルプボタン  が用意されています。クリックすると  のように黄色に変わります。次のヘルプボタンをクリックするか別の画面を表示するまで、メッセージエリアに説明文が表示されます。

ヘルプボタンをクリック



メッセージエリアに説明文が表示される

2.4 お買い上げ時の状態

初めて利用する場合は、最初に「現在の状態」をクリックして設定されている内容を確認してください。

2.4.1 現在の状態を表示する

現在の状態を表示するには、メニューエリアで「現在の状態」をクリックします。[システム設定]、[ネットワーク設定]、[画面設定]、[管理]画面で設定されている内容が表示されます。

この画面は、設定内容を確認するためのもので、設定する画面ではありません。

現在の状態	
トップ	バージョン Embedded MIRACLE Digital Signage Edition 1.3.20.11352
現在の状態	言語環境 日本語(ja JP)
	起動時再生URI確認 未定義
システム設定	端末名 miracle
	コンテンツフォルダ共有状態 停止中
ネットワーク設定	コンテンツフォルダ共有 ログインユーザ contents
	ログインパスワード 未設定(コンテンツフォルダの共有は行いません)
画面設定	外部ストレージ 未接続
	外部ストレージからの自動再生 有効
マニュアル再生	ガイダンス表示 無効
	ガイダンス表示のタイムアウト 0
コンテンツ	各静止画の表示時間 10
	静止画切替時のフェード効果 有効
管理	デバッグモード 有効
	システム時間 2012/02/29 11:14:59
	ネットワーク 無効
各項目のヘルプボタンを押すと項目に対する説明が表示されます。	



設定した値をお買い上げ時の設定に戻す場合は、次表の「お買い上げ時の状態」欄に記載する値を参照してください。

【現在の状態】 画面項目およびお買い上げ時の状態

項目名	説明	お買い上げ時の状態
バージョン	現在の「MVSプレイヤー」システムのバージョンを表示します。	お買い上げ時のバージョン
言語環境	〔システム設定〕画面で設定した言語環境を表示します。	日本語（ja_JP）
起動時再生URI確認	〔システム設定〕画面で設定した場合、起動時に再生するコンテンツをURI（Uniform Resource Identifier）で表示します。	未定義
端末名	「MVSプレイヤー」の端末名称を表示します。	miracle
コンテンツフォルダ共有状態	コンテンツフォルダの共有状態を表示します。 また、共有する際のログインユーザ名（contents固定）およびログインパスワード（〔システム設定〕画面で設定）が設定されているかどうかを表示します。	コンテンツフォルダの共有状態：停止中 ログインユーザ：contents（変更不可） ログインパスワード：未設定（コンテンツフォルダの共有は行えません）
外部ストレージ	USBメモリなどの外部ストレージメディアを接続しているかどうかを表示します。また、〔システム設定〕画面で設定した、外部ストレージメディア接続時の動作を表示します。	外部ストレージ：未接続 外部ストレージからの自動再生：有効 ガイドンス表示：無効 ガイドンス表示のタイムアウト：0 各静止画の表示時間：10 静止画切替時のフェード効果：有効
デバッグモード	〔システム設定〕画面で設定したデバッグモードを表示します。	無効
システム時間	〔管理〕画面で設定したシステム時刻を表示します。	現在時刻
NTPサーバー	〔管理〕画面で設定したNTPサーバーの設定状態を表示します。	NTPサーバー：無効 NTPサーバーアドレス：空欄
定期再起動	〔管理〕画面で設定した定期再起動の設定状態を表示します。	定期再起動：無効 再起動時刻：空欄
Flashセキュリティ設定	〔システム設定〕画面で設定したFlashセキュリティの設定状態を表示します。	Flashセキュリティ：禁止

項目名	説明	お買い上げ時の状態
ディスク容量	ディスク全体の容量を表示します。	ディスク全体の容量
ディスク使用量	ディスクの使用量を表示します。	現在のディスク使用量
空き容量	ディスクの空き容量を表示します。	現在の空き容量
ディスク使用率	ディスクの使用率を表示します。	現在のディスク使用率
ネットワークの状態	〔ネットワーク設定〕画面で設定した接続状態を表示します。	ネットワークの状態：未接続 物理アドレス：MACアドレス ネットワークの使用：無効 ネットワーク接続方式：固定IP接続 IPアドレス・ネットマスク・ゲートウェイ・プライマリDNS・セカンダリDNS：未設定
プロキシサーバー	〔ネットワーク設定〕画面で設定したプロキシサーバーアドレスを表示します。	未定義
解像度の設定	〔画面設定〕画面で設定した画面解像度の設定内容を表示します。	解像度の設定：自動 表示中の解像度、クロック周波数、HDip、HStart、HEnd、HTotal、VDip、VStart、VEnd、VTotal、水平同期信号の極性、垂直同期信号の極性：ディスプレイに依存

3. 「MVSプレイヤー」の設定

「MVSプレイヤー」は、最初に利用シーンに応じた設定をする必要があります。ここでは、各設定画面で設定する項目の内容について説明します。

3.1 システム設定

システム環境を設定するには、メニューエリアで「システム設定」をクリックします。この画面では、システムの動作環境およびコンテンツフォルダの共有に必要な項目を設定します。



「MIRACLE VISUAL STATION」設定メニューの各設定画面にある「更新」をクリックすると、更新処理に数秒～10 数秒かかることがあります。同じボタンを二度続けて押したり、別のボタンを続けて押したりすることはいないでください。



デバッグモードは、「有効」に設定しないでください。

項目名	説明
言語環境	「MVSプレイヤー」で表示する言語を設定します。
起動時再生URI確認	起動時に再生するコンテンツのURI（Uniform Resource Identifier）を入力します。[選択]をクリックすると、コンテンツフォルダ内から選択できます。[再生]をクリックすると、起動時再生URI確認に指定されているコンテンツを再生します。
端末名	「MVSプレイヤー」の端末名称を入力します。
コンテンツフォルダの共有	コンテンツフォルダを共有する場合に[ログインパスワード]を設定します。[ログインユーザ]は、「contents」固定で変更できません。
外部ストレージからの自動再生	USBメモリなどの外部ストレージメディアをUSB端子に接続したときに自動再生するかどうかを設定します。 [外部ストレージからの自動再生]を「有効」にした場合、接続したときの[ガイダンス表示]を設定します。[ガイダンス表示]を「有効」にした場合、[ガイダンス表示のタイムアウト]を設定でき、また、ガイダンスの表示秒数を設定できます。
各静止画の表示時間	静止画を表示するときの表示秒数を設定します。
静止画切替時のフェード効果	[静止画切替時のフェード効果]を「有効」にすると、静止画が切り替わる際にフェード効果が発生します。

項目名	説明
Flashセキュリティ設定	「許可」を設定すると、リモートのFlashコンテンツがローカルの任意のファイルを読み込むことができますようになります。
デバッグモード	サービスマンがメンテナンス用として使用します。
[更新]	変更した内容を更新する場合にクリックします。正しく変更されるとメッセージエリアに「変更が反映されました。」と表示されます。

3.2 ネットワーク設定

ネットワーク環境を設定するには、メニューエリアで[ネットワーク設定]をクリックします。



項目名	説明
ネットワークの使用	ネットワークを使用するかどうかを設定します。ネットワーク接続方式を「固定IP接続」に設定した場合は、IPアドレス以下の項目を設定する必要があります。
プロキシサーバー	プロキシサーバーを経由してWebサーバーに接続する場合にサーバーアドレスを設定します。プロキシサーバーは、「http://サーバーのIPアドレス:ポート番号」の形式で設定してください。
[更新]	変更した内容を更新場合にクリックします。正しく変更されるとメッセージエリアに「変更が反映されました。」と表示されます。

3.3 画面設定

画面サイズを設定するには、メニューエリアで「画面設定」をクリックします。この画面では、画面解像度および画面表示の回転角度を設定します。



項目名	説明
解像度の設定	解像度を、「自動」「選択」「固定(480p)」「固定(720p)」「固定(1080p)」「手動(高度な設定)」から選択します。通常は、「自動」のままにしてください。
画面の回転設定	画面の回転角度を、「回転しない」「左90度回転」「180度回転」「右90度回転」から選択します。通常は、「回転しない」のままにしてください。
[更新]	変更した内容を更新する場合にクリックします。正しく変更されるとメッセージエリアに「変更が反映されました。」と表示されます。



解像度の設定では、「手動(高度な設定)」を使用しないでください。サービスマンがメンテナンス用として使用します。

3.4 マニュアル再生

マニュアル再生するには、メニューエリアで「マニュアル再生」をクリックします。この画面では、再生するコンテンツが保存されているフォルダ・ファイルの選択およびURIを設定します。



項目名	説明
フォルダを参照	「選択」をクリックして再生するコンテンツ(ファイル)を選択します。選択したファイルと同階層およびそれより下の階層に存在する、すべての動画、静止画が順番に再生されます。
ファイルを参照	「選択」をクリックして再生するコンテンツ(ファイル)を選択します。選択したファイルのみ再生されます。
URIを参照	入力ボックスに再生するコンテンツのURI (Uniform Resource Identifier) を入力します。[再生] をクリックすると指定したコンテンツを再生します。Webページを表示する場合、[ネットワーク設定] 画面でプロキシサーバーの設定をする必要があります。

3.5 コンテンツ

コンテンツの作成、およびコンテンツフォルダを共有するには、メニューエリアで「コンテンツ」をクリックします。



項目名	説明
コンテンツ作成・編集	「実行」をクリックすると、コンテンツ作成、編集、再生を開始します。
MVSコンテンツ管理ツール	「実行」をクリックすると、MVSコンテンツ管理ツール（EMPopMaker プレイヤー版）を起動します。
コンテンツフォルダ共有	「実行」をクリックすると、コンテンツフォルダの共有を開始します。コンテンツフォルダを共有するには、[ネットワーク設定] 画面で「ネットワークの使用」を「有効」に設定し、[システム設定] 画面で「コンテンツフォルダ共有」の「ログインパスワード」を設定する必要があります。

3.6 管理

ソフトウェアアップデートを設定するには、メニューエリアで「管理」をクリックします。この画面では、更新（アップデート）情報のチェックのタイミングを設定したり、実際にソフトウェアアップデートを実行したりします。



項目名	説明
アップデート チェック日/時刻	アップデートをチェックした日および時刻を表示します。
アップデートの有無	アップデートの有無を表示します。アップデートがあれば新しいバージョンがあることを表示します。
アップデートの手動チェック	「実行」をクリックするとアップデートがあるかどうかをチェックします。アップデートがあれば新しいバージョンがあることを表示します。
アップデート実行	「実行」をクリックするとアップデートを開始します。
システムの再起動	「再起動」をクリックすると「MVSプレイヤー」を再起動します。
定期再起動	「有効」に設定すると、毎日設定した時刻に「MVSプレイヤー」を再起動します。
NTPサーバー	「有効」に設定すると、システム時間をNTPサーバーとの同期を行います。
NTPサーバーアドレス	NTPサーバーのIPアドレスを設定します（NTPサーバーを「有効」にしている場合のみ設定可能）。
システム時間	「更新」をクリックするとシステム時間を更新します。
「更新」	変更した内容を更新する場合にクリックします。正しく変更されるとメッセージエリアに「変更が反映されました。」と表示されます。

4. MVSコンテンツ管理ツールでのコンテンツ作成

コンテンツとは、コンテンツ素材（動画、静止画、テロップなど）を組み合わせたデジタルサイネージデータのことをいいます。作成したコンテンツはタイムテーブルやスケジュールを組んで、好きな日時に再生することが可能です。ここでは、コンテンツ/タイムテーブル/スケジュールのそれぞれの作成方法について説明します。

なお、EMPopMakerには「EMPopMaker プレイヤー版」と「EMPopMaker PC版」がありますが、コンテンツ/タイムテーブル/スケジュールの作成方法は基本的に同じ操作になります。ここでは、「EMPopMaker プレイヤー版」での操作方法を解説します。

4.1 コンテンツの作成

コンテンツとは、コンテンツ素材（動画、静止画、テロップなど）を組み合わせたデジタルサイネージデータのことをいいます。

「MVSプレイヤー」ではコンテンツ素材単体での再生も可能ですが、コンテンツとすることで、よりインパクトのある情報提供が可能となります。

ここでは、コンテンツの作成手順について説明します。

①コンテンツ素材を準備する



②新規作成を選択する



③レイアウトを選択する



④コンテンツ素材を選択する



⑤保存する

1 コンテンツ素材を準備する

コンテンツを作成するためには、コンテンツフォルダまたはUSBメモリにコンテンツ素材を準備する必要があります。



操作手順の説明で使用しているコンテンツ素材は、プレイヤーには含まれません。

2 「EMPopMaker プレイヤー版」を起動する

メニューエリアで「コンテンツ」をクリックします。

➤ 「コンテンツ」画面が表示されます。



「コンテンツ」を
クリック

<手順2の続き>

「コンテンツ」画面で、MVSコンテンツ管理ツールの「実行」をクリックします。

⇒ 「メインメニュー」画面が表示されます。



「実行」をクリック

3 コンテンツの作成・編集を選択する

「メインメニュー」画面で「コンテンツの作成・編集」をクリックします。

⇒ 「コンテンツ作成メニュー」画面が表示されます。



「コンテンツの作成・編集」をクリック

4 新規作成

【コンテンツ作成メニュー】画面で【新規作成】をクリックします。

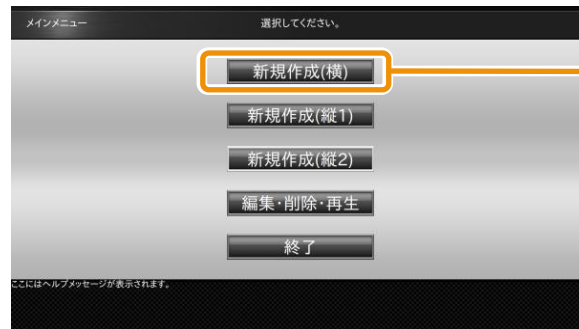
≫ 【レイアウト選択】画面が表示されます。

Memo

【新規作成（横）】：ディスプレイを横に設置する場合に選択してください。

【新規作成（縦1）】：ディスプレイを縦に設置する場合に選択してください。詳しくは、「6.4.1 縦1のテンプレートを使用してコンテンツを作成するには」（94ページ）を参照してください。

【新規作成（縦2）】：ディスプレイを縦に設置する場合に選択してください。再生するコンテンツは90度回転したものをご用意ください。詳しくは、「6.4.2 縦2のテンプレートを使用してコンテンツを作成するには」（97ページ）を参照してください。



【新規作成（横）】
クリック

5 レイアウトを選択する

画面に表示するレイアウトをクリックします。

ここでは、レイアウト（3分割）を選択する例を説明します。

≫ コンテンツ素材を選択する画面が表示されます。



レイアウト
（3分割）を
クリック

6 コンテンツ素材を選択する

フレームごとに再生するコンテンツ素材を選択します。
 フレーム1は動画、静止画、Flash、URL、フレーム2は静止画、フレーム3はテロップを再生できます。
 レイアウトをクリックして、フレーム1、フレーム2、フレーム3の順で割り当てるコンテンツ素材の設定を行います。

≫ データの読込先ガイダンスが表示されます。



テロップとして使用するテキストファイルは、文字コード「UTF-8」で作成する必要があります。



コンテンツ素材は複数選択が可能です。

3分割フレームの場合

フレーム1：複数のコンテンツ素材の選択が可能
 （動画・静止画の混在、Flash・URLの混在も可）

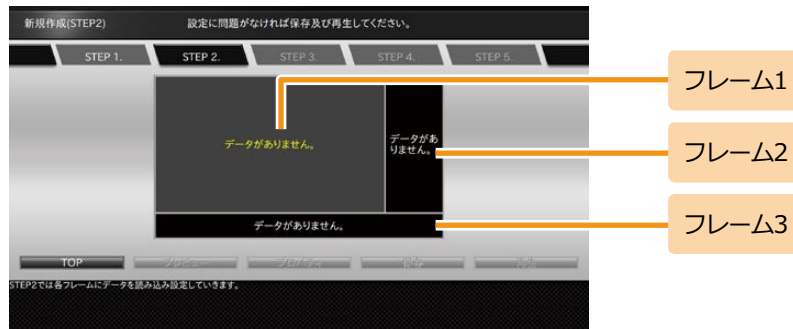
フレーム2：複数のコンテンツ素材の選択が可能
 （静止画のみ）

フレーム3：複数のテロップの選択・編集が可能



複数のコンテンツ素材を同一のフレームに選択するときには、以下の注意が必要です。

- ・動画、静止画が設定されているフレームに URL、Flash ファイルを設定することはできません。
- ・URL、Flash ファイルが設定されているフレームに動画、静止画を設定することはできません。



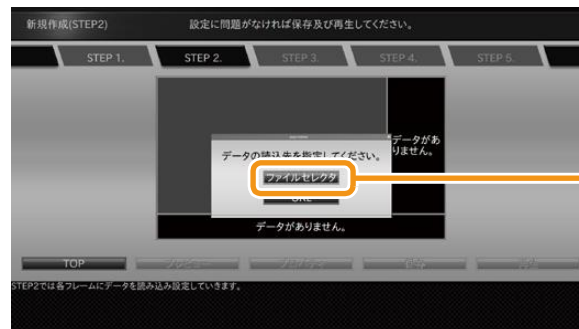
<手順6の続き>

【ファイルセクタ】をクリックします。

≫ 【ファイル選択】画面が表示されます。

Memo

【動画or静止画】のフレームでは、【URL】をクリックして、URLを設定することができます。また、テロップのフレームでは、【テロップエディタ】をクリックして、テロップを直接入力することができます。



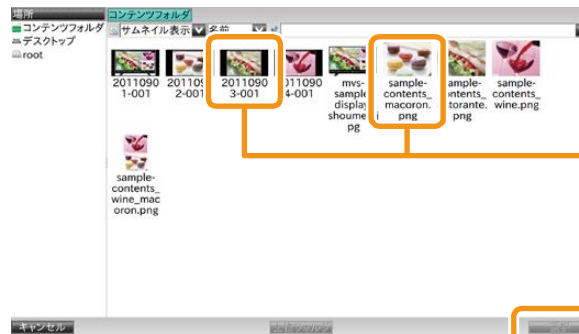
【ファイルセクタ】をクリック

再生するコンテンツ素材を選択します。該当のファイルを選択して【選択】をクリックします。コンテンツ素材の選択操作を繰り返し行い、すべてのフレームにコンテンツ素材を設定します。

≫ 選択したコンテンツ素材が各フレームに割り当てられます。

Memo

外部ストレージメディア（USBメモリなど）を接続していると、接続しているUSBメモリが【ファイル選択】画面左の【場所】に表示されます。コンテンツにはUSBメモリ内のコンテンツ素材を設定することもできます。



コンテンツ素材を選択（複数可）

【選択】をクリック

<手順6の続き>

Memo

1つの素材を同じフレーム内で繰り返し使用したい場合は、フレームのプロパティでコンテンツを選択後、ドラッグし、コピーしたい場所にCtrlキーを押しながらドロップします。詳しくは、「[6.4.6 1つのフレームに同一のコンテンツ素材を設定するには](#)」(119ページ)を参照してください。

Memo

コンテンツ全体や各フレームに対してプロパティを設定することができます。

- ・コンテンツ全体のプロパティを設定するには、「[6.4.4 コンテンツ全体の詳細な設定をするには](#)」(107ページ)を参照してください。
- ・各フレームのプロパティを設定するには、「[6.4.5 各フレームの詳細な設定をするには](#)」(112ページ)を参照してください。



以下の文字をファイル名に含むコンテンツ素材は使用できません。

/ : * ? " < > | ¥ , ' # %



「MVS プレイヤー」から外部ストレージメディア (USB メモリなど) を取り外していても、[ファイル選択] 画面左の[場所] に外部ストレージメディアの情報が表示され続けることがあります。

情報を削除するには、「MVS プレイヤー」を再起動してください。そのままの状態でお使いいただいても問題ありません。

<手順6の続き>



複数のコンテンツ素材を同一のフレームに選択するときには、以下の注意が必要です。

- ・複数選択したコンテンツ素材にフォルダが含まれる場合、フォルダおよびフォルダ内のコンテンツ素材はフレームに設定されません。
- ・既にフレームに設定済みのコンテンツ素材は、同一フレームに追加設定することはできません。



テロップに改行を含むファイルを指定した場合、改行は半角スペースに変換されます。また、[テロップエディタ]でテロップの内容を直接入力する場合、Enterキーでは半角スペースが入力されます。



各言語の先頭と最後にタグを入力

【先頭に入れるタグ】

日本語：

韓国語：

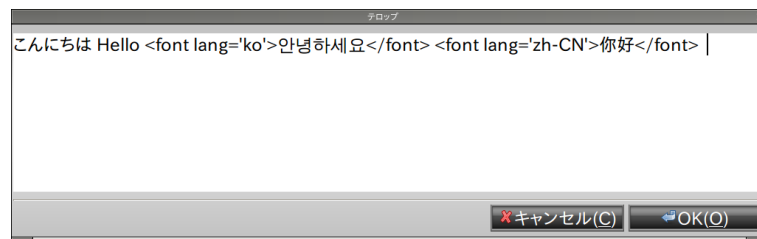
簡体中国語：

繁体中国語：

【最後に入れるタグ】

共通：

MVSプレイヤーの設定言語が日本語で、韓国語と簡体中国語を表示する場合



7 プレビューする

フレームごとにコンテンツ素材の選択が終了すると、各ウィンドウに選択したファイル名またはサムネイルが表示されるので、[プレビュー] をクリックします。

➤ コンテンツがプレビュー表示されます。

Memo

プレビュー操作は必須ではありません。コンテンツの保存前にプレビューを確認したい場合のみ行ってください。



プレビューは「EMPopMaker プレイヤー版」のみ可能です。

プレビューを終了するには、プレビュー画面左上のガイダンスをクリックするかESCキーを押します。

[プレビュー] を
クリック



ここを
クリック

8 保存する

コンテンツとして保存するために[保存]をクリックします。

➤ コンテンツ保存のガイダンスが表示されます。

保存するときにファイル名を変更できます。コンテンツファイル名を確認して[保存]をクリックします。

➤ コンテンツフォルダにコンテンツが保存されます。

Memo

コンテンツファイル名を変更する場合は、入力ボックスに表示されているファイル名を修正してください。



コンテンツファイル名に以下の名前は使用できません。

空白文字だけのコンテンツ名

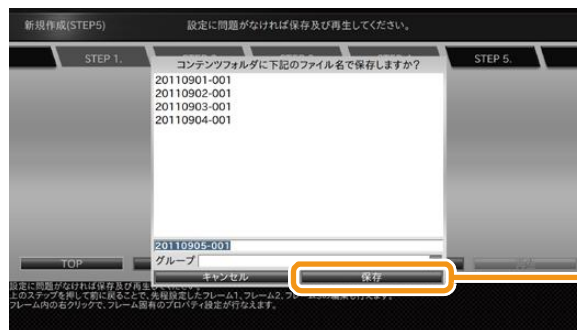
.'(ドット)で開始するコンテンツ名

.'(ドット)または' '(スペース)で終端するコンテンツ名
次の文字を含むコンテンツ名

/ : * ? " < > | ¥ , ' # %



【保存】
をクリック



【保存】
をクリック

4.2 タイムテーブルの作成

タイムテーブルとは、ある1日のコンテンツの再生スケジュールのことをいいます。タイムテーブルを作成することで、1日に複数のコンテンツの再生が可能となります。ここではタイムテーブルの作成手順について説明します。

1 タイムテーブルの作成・編集を起動する

「EMPopMaker プレイヤー版」の［メインメニュー］画面で［タイムテーブルの作成・編集］をクリックします。

➡ ［タイムテーブル作成］画面が表示されます。

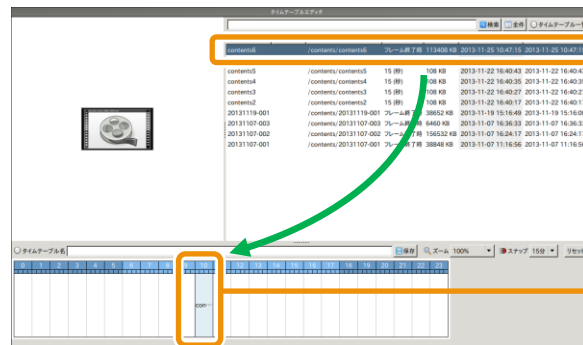


［タイムテーブルの
作成・編集］を
クリック

2 コンテンツを設定する

コンテンツ一覧から任意のコンテンツをタイムテーブル表にドラッグ&ドロップします。

⇒ コンテンツがプレビュー表示されます。



ドラッグ&
ドロップで
タイムテーブル
にセット

3 再生時間を調整する

タイムテーブルに設定したコンテンツの端にマウスカursorを合わせ、ドラッグ&ドロップでコンテンツの再生時間を調整します。

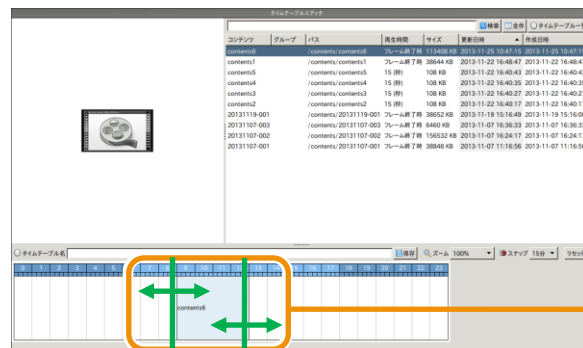
⇒ コンテンツの再生時間が延長、短縮します。



スナップでは、再生時間の伸縮単位を変更することができます。再生時間は、1分、5分、15分、30分、60分単位で伸縮することができます。



ズームでは、タイムテーブル表の拡大率を変更することができます。



再生時間の
幅を調整

<手順3の続き>

コンテンツの設定、再生時間の調整を繰り返し行い、タイムテーブル表を完成させます。

Memo

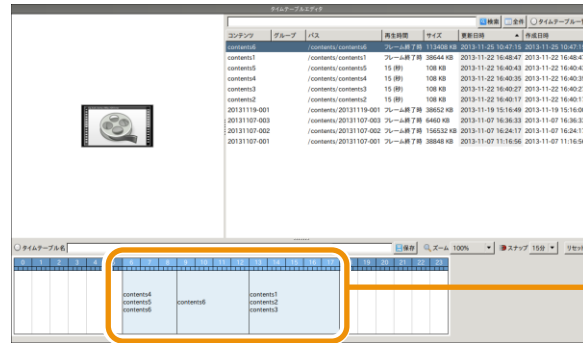
1つの再生時間帯に複数のコンテンツを設定することもできます。

Memo

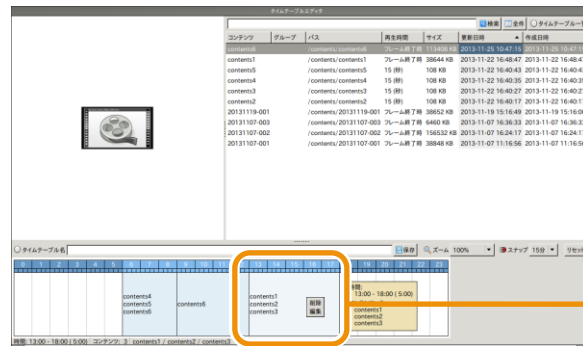
コンテンツが設定されていない時間帯は空白ページが表示されます。

なお、任意の再生時間帯に設定されているコンテンツを編集したい場合は、編集したい再生時間帯を右クリックし、[編集] をクリックします。

任意の再生時間帯をすべて削除する場合は、右クリック後、[削除] をクリックします。



ドラッグ＆ドロップを繰り返し、タイムテーブルを作成

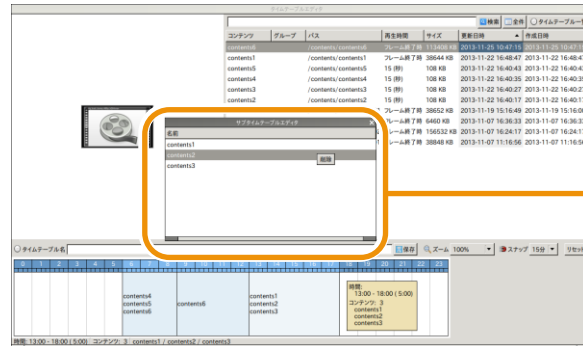


修正したい再生時間幅を右クリック

<手順3の続き>

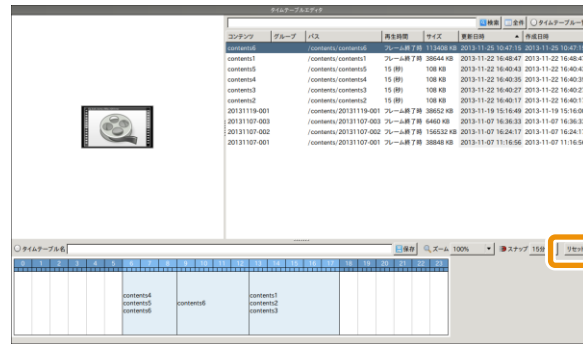
【編集】をクリックすると、再生時間帯に設定されてるコンテンツのリストがポップアップで表示されます。コンテンツを右クリックして、【削除】をクリックすると、個別に削除することができます。

また、リスト中のコンテンツをドラッグ&ドロップすることで再生順序を変更することができます。
編集が完了したら、【×】をクリックします。



設定されている
コンテンツを
編集する

また、【リセット】をクリックすると、タイムテーブルに設定されているコンテンツをすべて削除できます。



【リセット】
をクリック

4 保存する

[タイムテーブル名] 欄に作成したタイムテーブルの名前を入力し、[保存] をクリックします。

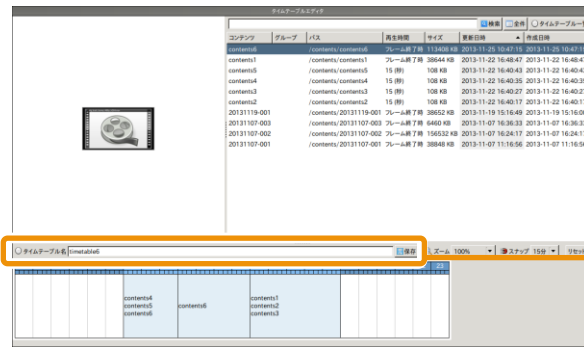
☞ タイムテーブルが保存されます。



以下の文字はタイムテーブル名に使用できません。
' ¥ %



タイムテーブルの名前は 64 文字以内にしてください。



タイムテーブル名を入力して、
[保存] をクリック

4.3 スケジュールの作成

スケジュールとは、ある特定の年月日、特定の曜日、全日（毎日）にタイムテーブルを指定した、長期にわたるコンテンツ再生スケジュールのことをいいます。スケジュールを作成することで、日付をまたいだコンテンツの再生が可能となります。スケジュールは現在の月から5年先まで設定することが可能です。

ここではスケジュールの作成手順について説明します。

4.3.1 ユーザー定義タイムテーブルの配置

1 スケジュールの作成・編集を起動する

「EMPopMaker プレイヤー版」の［メインメニュー］画面で［スケジュールの作成・編集］をクリックします。

➤ 「スケジュール作成」画面が表示されます。

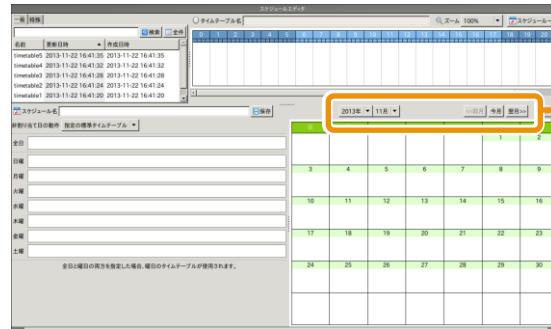


「スケジュールの
作成・編集」を
クリック

2 スケジュール表を表示する

年コンボボックス、月コンボボックス、[<<前月]、[翌月>>] を操作し、スケジュールを設定したい月のスケジュール表を表示します。

➤ スケジュール表の表示が更新されます。



スケジュール
を表示する
カレンダーを
表示

3 非割り当て日の動作を決める

非割り当て日の動作とは、タイムテーブルが設定されていない日の再生スケジュールのことです。非割り当て日の動作には以下のどちらかを設定できます。

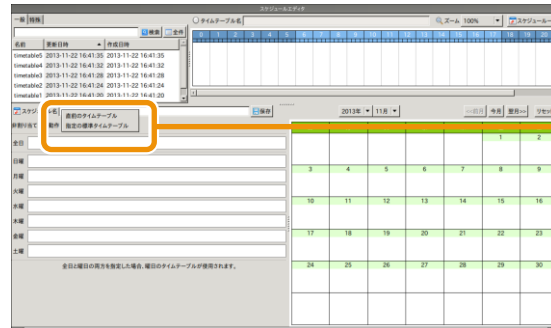
(1) 指定の標準タイムテーブル

スケジュール表に設定されているタイムテーブルのとおり再生が行われます。タイムテーブルが設定されていない日は空白ページが表示されます。

(2) 直前のタイムテーブル

タイムテーブルが設定されていない日は、直前に再生されたタイムテーブルを再生します。直前のタイムテーブルが存在しない場合は、空白ページが表示されます。

直前のタイムテーブルが設定された場合は、全日、各曜日にタイムテーブルを設定できません。

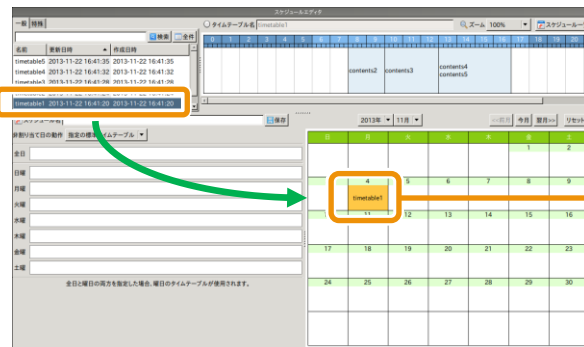


非割り当て日
の動作を選択

4 タイムテーブルを設定する

タイムテーブル一覧から任意のタイムテーブルをスケジュール表にドラッグ&ドロップします。

⇒ スケジュール表にタイムテーブルが設定されます。

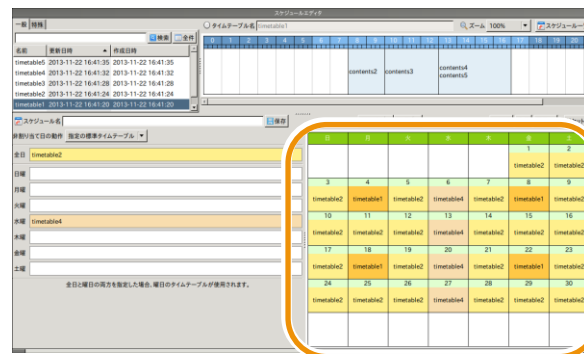


ドラッグ&
ドロップで
スケジュール
にセット

スケジュール表の表示、タイムテーブルのドラッグ&ドロップを繰り返し行い、スケジュール表を完成させます。

Memo

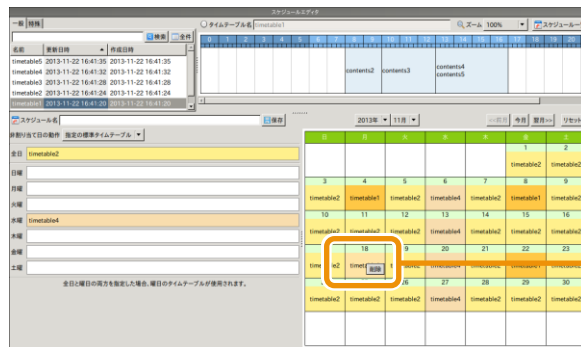
全日には毎日再生するタイムテーブル、曜日には特定の曜日に再生するタイムテーブルを設定します。
スケジュールが重複した場合は、「スケジュール表>曜日>全日」の順で優先されます。



ドラッグ&
ドロップを
繰り返し、
スケジュール
を作成

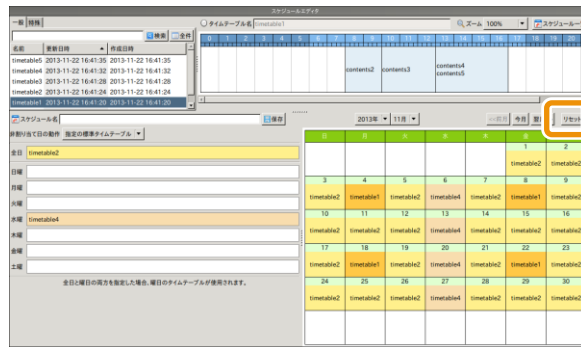
<手順4の続き>

なお、スケジュール表、全日、曜日に設定したタイムテーブルを削除する場合は、対象のタイムテーブルを右クリック後、[削除] をクリックします。



削除したい
タイムテーブル
を右クリック

また、[リセット] をクリックすると、スケジュール表示設定されているタイムテーブルをすべて削除できます。



[リセット]
をクリック

5 保存する

「スケジュール名」欄に作成したスケジュールの名前を入力し、「保存」をクリックします。

➤ スケジュールが保存されます。



以下の文字はスケジュール名に使用できません。

’ ￥ %

スケジュール名を入力して「保存」をクリック

4.3.2 非再生日タイムテーブルの配置

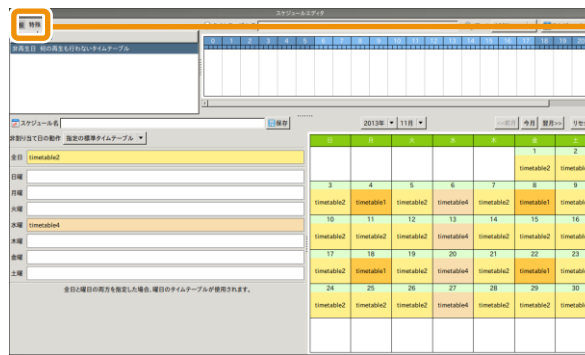
前項の手順4「タイムテーブルを設定する」において、[非再生日]という予め定義された特殊なタイムテーブルを利用することもできます。これは、一日(00:00-23:59)の間、何のコンテンツも再生されないタイムテーブルです。特定の曜日にプレイヤーから何も再生せず、DPMS 対応のディスプレイを節電モードに保ちたい場合などに利用できます。



非再生日タイムテーブルを使用する場合、MVS プレイヤーのバージョンが 1.3.60 以上である必要があります。

1 タイムテーブルの切り替え

タイムテーブル一覧で、[特殊] タブを選択します。

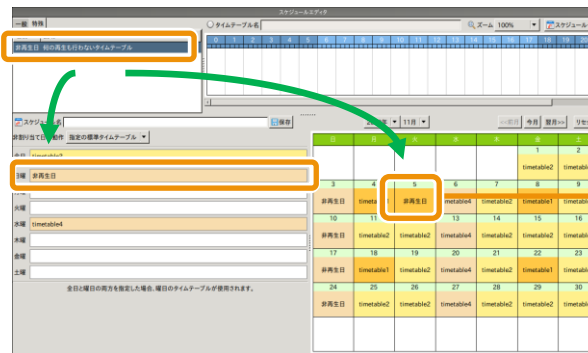


[特殊] を
クリック

2 非再生日タイムテーブルを設定する。

タイムテーブル一覧から「非再生日」タイムテーブルをスケジュール表にドラッグ&ドロップします。曜日の設定欄にもドロップできます。

「非再生日」は全日には設定できません。

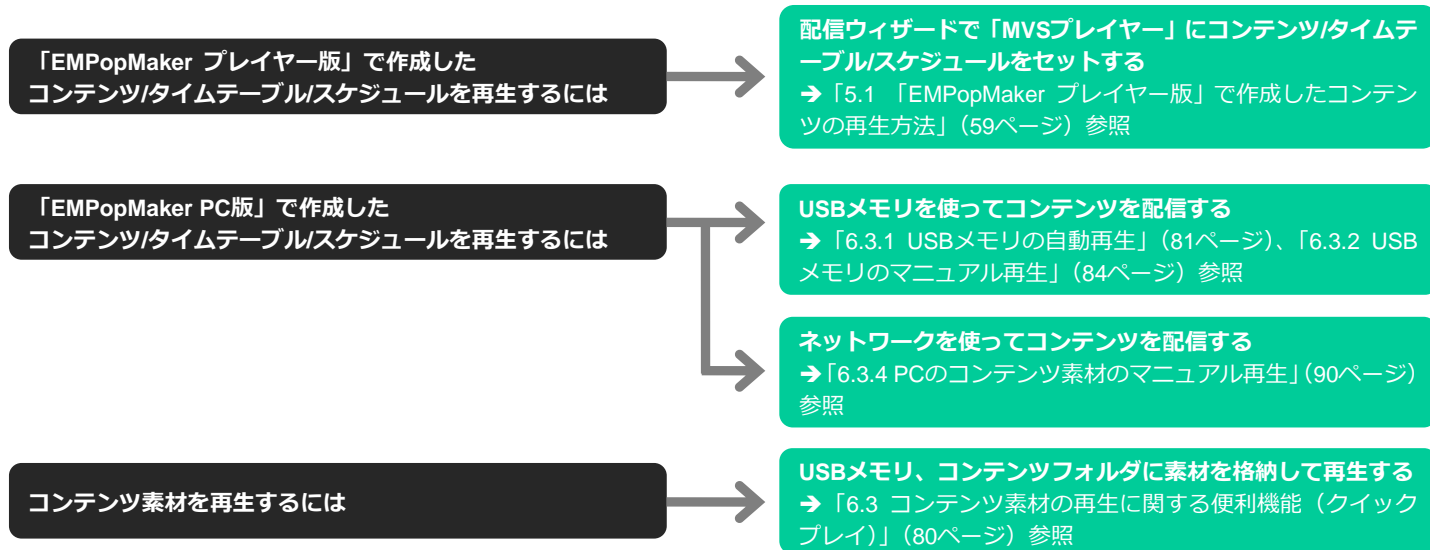


ドラッグ&
ドロップで
「非再生日」
をセット

5. コンテンツの再生

「MVSプレイヤー」では、コンテンツ素材（動画、静止画、Flashなど）のほか、EMPopMakerで作成したコンテンツ/タイムテーブル/スケジュールを再生することができます。ただし、「EMPopMaker プレイヤー版」で作成したコンテンツ/タイムテーブル/スケジュールと、「EMPopMaker PC版」で作成したコンテンツ/タイムテーブル/スケジュールでは、再生までの手順が異なります。ここでは、「EMPopMaker プレイヤー版」で作成したコンテンツの再生方法について説明します。

コンテンツの再生方法



5.1 「EMPopMaker プレイヤー版」で作成したコンテンツの再生方法

ここでは、「MVSプレイヤー」に搭載されている「EMPopMaker プレイヤー版」で作成したスケジュールを再生するまでの手順について説明します。

1 「EMPopMaker プレイヤー版」を起動する

メニューエリアで「コンテンツ」をクリックします。

➤ 「コンテンツ」画面が表示されます。



「コンテンツ」を
クリック

「コンテンツ」画面で、MVSコンテンツ管理ツールの
「実行」をクリックします。

➤ 「メインメニュー」画面が表示されます。



「実行」を
クリック

2 配信ウィザードを起動する

EMPopMakerの[メインメニュー]画面で[配信ウィザード]をクリックします。

➤ [配信ウィザード]画面が表示されます。

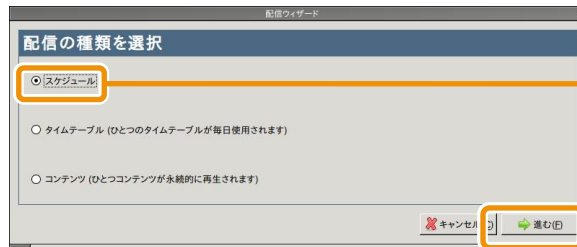


「配信ウィザード」をクリック

3 配信するコンテンツを選択する

[スケジュール]を選択し、[進む]をクリックします。

➤ [スケジュールを選択]画面が表示されます。



「スケジュール」を選択

「進む」をクリック

<手順3の続き>

配信するスケジュールを選択し、[進む] をクリックします。

➤ 「このプレイヤーに登録」画面が表示されます。



配信する
スケジュール
を選択

[進む] を
クリック

4 プレイヤーにコンテンツを登録する

内容に間違いがないことを確認後、[開始] をクリックします。

➤ 「MVSプレイヤー」にコンテンツが設定されます。

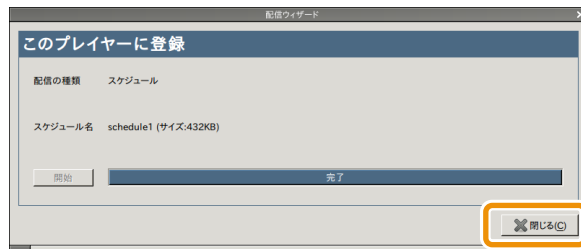


[開始] を
クリック

<手順4の続き>

進捗バーに「完了」が表示されたら、「閉じる」をクリックします。

⇒ 配信ウィザードが終了します。



「閉じる」をクリック

EMPopMakerのメインメニューで「×」（閉じる）をクリックします。

⇒ EMPopMakerが終了します。



「×」(閉じる)をクリック

5 コンテンツを再生する

メニューエリアで「システム設定」をクリックします。

➤ 「システム設定」画面が表示されます。



「システム設定」
をクリック

システム設定画面で「再生」をクリックします。

➤ コンテンツが再生されます。



「再生」を
クリック

6. 便利機能の活用

ここでは、ネットワークへの接続、画面解像度の設定などの便利な機能についての操作方法を説明します。

6.1 環境設定に関する便利機能

6.1.1 ネットワークに接続するには

ネットワークに接続するには、「MVSプレイヤー」にネットワークケーブルを接続します。

最初に[ネットワーク設定]画面でネットワークの設定をすると、コンテンツフォルダを共有してネットワーク上のPCのコンテンツを利用できます。[ネットワーク設定]画面については、「[3.2 ネットワーク設定](#)」(32ページ)を参照してください。

1 LANケーブルを接続する

プレイヤーの端子にLANケーブルを接続します。

2 ネットワーク設定をする

メニューエリアで[ネットワーク設定]をクリックします。

➤ [ネットワーク設定]画面が表示されます。



[ネットワーク
設定]をクリック

<手順2の続き>

「ネットワークの使用」を「有効」に設定します。

「ネットワーク接続方式」を「DHCP接続」にするか「固定IP接続」にするか選択します。

「DHCP接続」に設定する場合は、「DHCP接続」を選択後、「更新」をクリックします。

「固定IP接続」を設定する場合は、「固定IP接続」を選択後、各アドレスの値を入力します。

IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、プライマリDNS、セカンダリDNSを入力して「更新」をクリックします。

ネットワーク設定	
ネットワークの使用	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
ネットワーク接続方式	<input checked="" type="radio"/> DHCP接続 <input type="radio"/> 固定IP接続
IPアドレス	10.2.0.129
ネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	10.2.0.1
プライマリDNS	10.2.200.15
セカンダリDNS	10.2.200.12
プロキシサーバー http://10.2.0.97:8081	
更新	

設定したら、
「更新」を
クリック

6.1.2 画面解像度を変更するには

画面の解像度を変更するには、[画面設定] 画面を使用します。

画面が正常に表示されなくなった場合は、ショートカットキーを利用して解像度を設定できます。

ショートカットキーについては、「7.3 画面解像度設定のショートカットキー」(159ページ) を参照してください。

1 [画面設定] 画面を表示する

メニューエリアで [画面設定] をクリックします。

➤ [画面設定] 画面が表示されます。



「画面設定」を
クリック

2 画面解像度を設定する

[解像度の設定] のドロップダウンリストから「選択」を選択します。

➤ [解像度の選択] にドロップダウンリストが表示されます。



「選択」を選択



解像度の設定では、「手動（高度な設定）」を使用しないでください。
サービスマンがメンテナンス用として使用します。

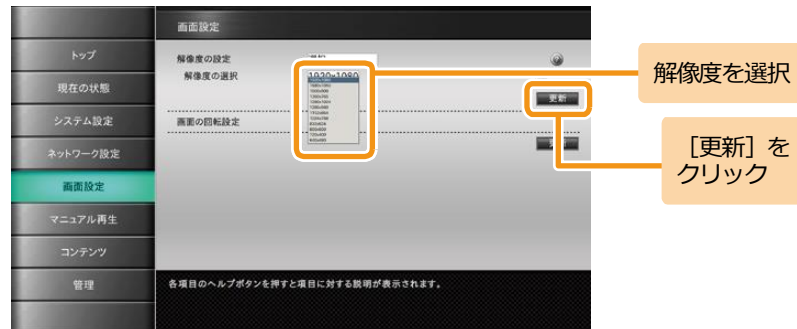
3 解像度を選択する

ドロップダウンリストから解像度を選択して「更新」をクリックします。

⇒ 画面解像度が設定されます。



ディスプレイにより設定できる画面解像度が変わります。
画面解像度については、ディスプレイに付属している取扱説明書をお読みください。



6.1.3 ディスプレイを縦置きにするには

ディスプレイを縦置きにするには、まず横置き状態で「画面の回転設定」をしてから、ディスプレイを縦向きに回転させます。



ディスプレイを縦置きにした場合、動画または音声ファイルの種類によっては正しく再生できない場合があります。対処方法として、再生方式をソフトウェアに変更してから再生してください。再生方式については、「1.5.1 再生できる動画・音声ファイルの形式」(23 ページ)を参照してください。

1 「画面設定」画面を表示する

メニューエリアで「画面設定」をクリックします。

➤ 「画面設定」画面が表示されます。



「画面設定」をクリック

2 画面の回転設定をする

ディスプレイ回転の向きに従い「画面の回転設定」で「左90度回転」または「右90度回転」を選択して「更新」をクリックします。

➤ 画面が縦方向に回転します。

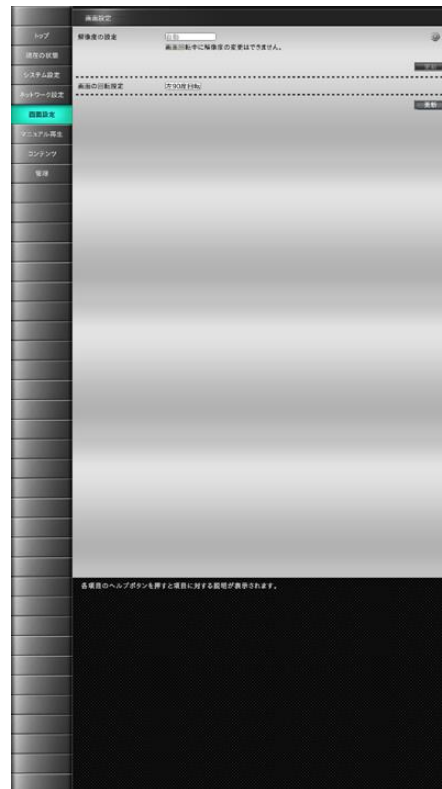


「左90度回転」または「右90度回転」を選択

「更新」をクリック

3 ディスプレイを縦置きにする

ディスプレイを縦置きにして「MIRACLE VISUAL STATION」設定メニューから通常の操作ができます。



6.1.4 起動時に再生するコンテンツを指定するには

「MVSプレイヤー」を起動するとき、自動的に再生するコンテンツを指定します。

1 「システム設定」画面を表示する

メニューエリアで「システム設定」をクリックします。

≫ 「システム設定」画面が表示されます。



2 起動時に再生するコンテンツを指定する

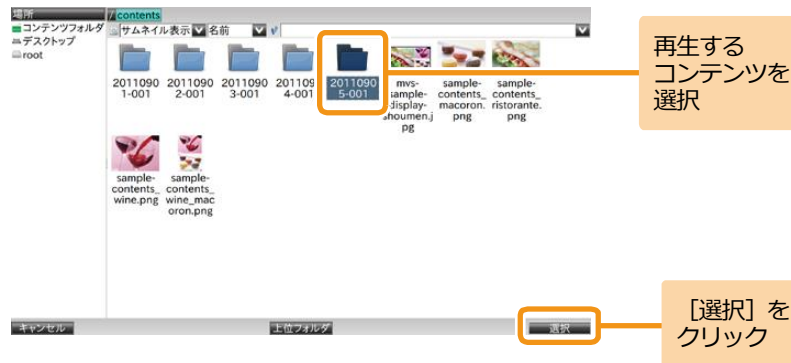
「システム設定」画面で「起動時再生URI確認」の「選択」をクリックします。

≫ コンテンツフォルダの中身が表示されます。



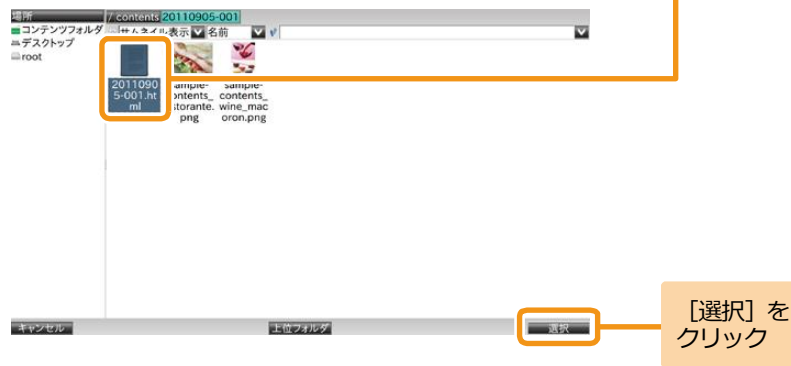
<手順2の続き>

起動時に再生するコンテンツを選択して「選択」をクリックします。



再生するコンテンツ内の「コンテンツ名.html」ファイルを選択して「選択」をクリックします。

≫ 「起動時再生URI確認」が設定されます。



<手順2の続き>

「更新」をクリックします。

➤ メッセージエリアに「変更が反映されました。」と表示されます。



「更新」をクリック

3 プレイヤーを再起動する

電源を切った後に再び電源を入れて再起動します。

➤ 「MVSプレイヤー」が起動し、メッセージが表示され10秒経過した後、設定したコンテンツが表示されます。



「設定メニューに戻る」をクリックすると、起動時にコンテンツを表示しないで設定メニューに戻ります。

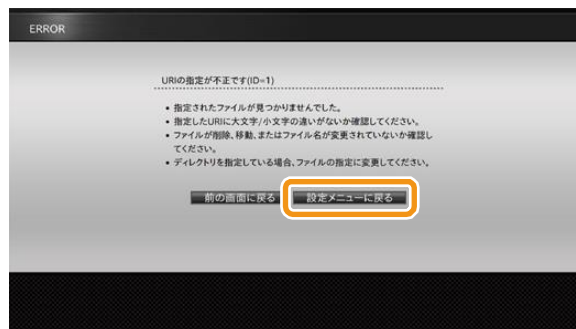


<手順3の続き>



起動時再生URIで設定したコンテンツ

➤ 設定したコンテンツがない場合は、右のエラーメッセージが表示されるので、[設定メニューに戻る]をクリックして手順1からやり直してください。



エラーメッセージ

6.1.5 ソフトウェアをアップデートするには

〔管理〕画面を表示し、ソフトウェアのアップデート状況を確認します。

〔管理〕画面については、「[3.6 管理](#)」(35ページ)を参照してください。

なお、ソフトウェアのアップデートに関しては、有償サポートが必要となります。



ソフトウェアのアップデートについて、より詳しい情報を以下のホームページで公開しておりますので、ご参照ください。

ミラクル・リナックスホームページ

<https://www.miraclelinux.com/jp/product-service/digital-signage/support>

6.2 コンテンツ素材の追加・削除に関する便利機能

6.2.1 「MVSプレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには

ネットワーク上のPCからコンテンツ素材を保存するためにコンテンツフォルダを共有します。

コンテンツフォルダを共有するには、[システム設定] 画面の [コンテンツフォルダ共有] で [ログインパスワード] を設定し、ネットワークに接続する必要があります。

[ログインパスワード] の設定については、[「3.1 システム設定」\(31ページ\)](#) を参照してください。

1 [コンテンツ] 画面を表示する

メニューエリアで [コンテンツ] をクリックします。

➤ [コンテンツ] 画面が表示されます。



[コンテンツ] を
クリック

2 コンテンツフォルダを共有する

「コンテンツ」画面で、「コンテンツフォルダ共有」の「実行」をクリックします。

⇒ 警告メッセージウインドウが表示されます。



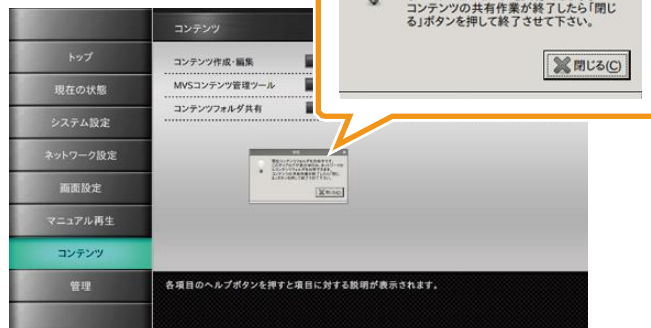
「実行」をクリック

警告メッセージウインドウが表示され、コンテンツフォルダが共有状態になります。

共有を解除するには、「閉じる」をクリックしてください。



共有中は、画面の操作はできません。



3 ネットワーク上のPCから接続する

ネットワーク上のPCからWindowsエクスプローラーまたはInternet Explorerを起動してコンテンツフォルダのアドレスを入力します。

ネットワークに接続する手順については、「[6.1.1 ネットワークに接続するには](#)」(64ページ)を参照してください。

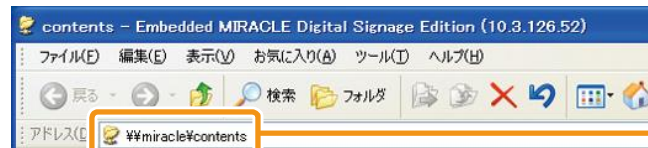
≫ コンテンツフォルダの内容が表示されます。



コンテンツフォルダのアドレスを入力する場合は、[現在の状態] 画面で、[ネットワークの状態] が「接続中」になっていることを確認してください。

端末名が「miracle」の場合の入力例は、以下のようになります。

【入力例】 ¥¥miracle¥contents

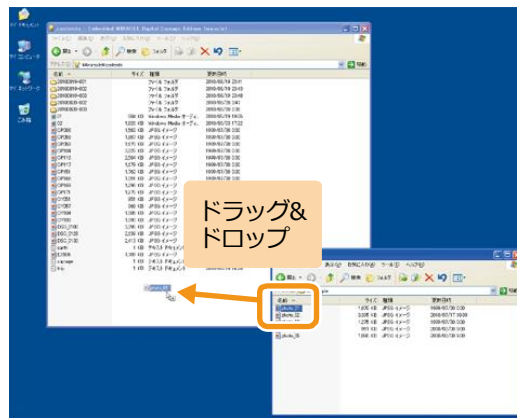


アドレスを
入力

4 コンテンツフォルダに画像ファイルをコピーする

PCの画像ファイルをコンテンツフォルダにドラッグ&ドロップします。

➤ コンテンツフォルダにPCの画像がコピーされます。

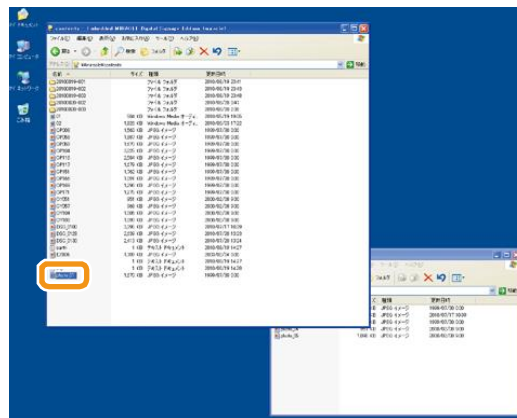


PCの画像と同じ画像がコンテンツフォルダにも表示されます。

共有中は、コンテンツフォルダのファイルをPCにコピーしたり削除したりできます。



コンテンツフォルダ内のコンテンツ素材を変更すると、変更した結果がそのまま反映されます。コンテンツフォルダを操作する場合は、事前にバックアップをとることをお勧めします。



6.2.2 「MVSプレイヤー」からコンテンツ素材を削除するには

「MVSプレイヤー」に格納したコンテンツ素材を削除する方法について説明します。

1 コンテンツフォルダを共有し、PCから接続する

「MVSプレイヤー」のコンテンツフォルダを共有させます。ネットワーク上のPCで、エクスプローラーまたはブラウザを起動して、コンテンツフォルダのアドレスを入力します。詳しくは「6.2.1 「MVSプレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには」(75ページ)の手順1～3を参照してください。

2 コンテンツ素材を削除する

コンテンツフォルダ内に格納されているコンテンツ素材を選択して、Deleteキーで削除します。

➤ コンテンツフォルダからコンテンツ素材が削除されます。



コンテンツフォルダ内には、「EMPopMaker プレイヤー版」で作成したコンテンツも格納されています。操作上、コンテンツを Delete キーで削除することも可能ですが、削除したコンテンツは再生や配信ができなくなるなどの問題が発生する可能性があります。コンテンツの削除は「EMPopMaker プレイヤー版」の、EMPopMaker の「コンテンツの作成・編集」から削除を行うことを推奨します。詳しくは、「6.4.3 コンテンツの編集・削除するには」(102 ページ)を参照してください。

6.3 コンテンツ素材の再生に関する便利機能（クイックプレイ）

「MVSプレイヤー」では、コンテンツ素材（動画、静止画、Flashなど）自体を指定して再生することもできます。
ここでは、USBメモリ、コンテンツフォルダ、PCに格納されているコンテンツ素材の再生方法について説明します。



6.3.1 USBメモリの自動再生

USBメモリ（外部ストレージ）を接続すると、静止画や動画のコンテンツ素材が自動で再生できます。

外部ストレージからの自動再生およびガイダンス表示の設定方法については、「[3.1 システム設定](#)」（31ページ）を参照してください。

お買い上げ時は、ガイダンス表示は「無効」に設定されています。

ここでは、ガイダンス表示を「有効」に設定した場合の操作について説明します。

1 USBメモリを接続する

USB端子にUSBメモリを接続します。

➤ 自動再生用のガイダンスが表示されます。

自動再生用のガイダンスで、「コンテンツのスライドショー」を選択すると、選択したコンテンツ素材から再生します。

「おまかせ表示」を選択すると、USBメモリにあるコンテンツ素材をファイル名順に連続再生します。ここでは、1つのファイルを再生する例を説明します。



ガイダンス表示「しない」の設定の場合は、再生方法が「おまかせ表示」となり、USBメモリにあるコンテンツ素材をファイル名順に連続再生します。

ガイダンス表示項目一覧

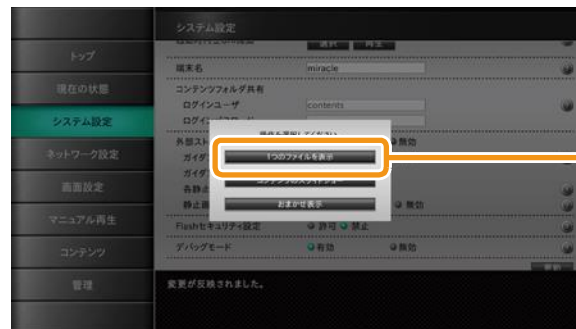
ガイダンス 表示項目	概要
1つのファイルを表示	「データ選択」画面で選択したコンテンツ素材のみを再生。
コンテンツのスライドショー	「データ選択」画面で選択したコンテンツ素材からフォルダ内のすべてのコンテンツ素材（サブフォルダ含む）をファイル名順に連続再生。
おまかせ表示	USBメモリ内のすべてのコンテンツ素材（サブフォルダ含む）をファイル名順に連続再生。

2 再生方法を選択する

[1つのファイルを表示] をクリックします。

➤ USBメモリの中身が表示されます。

[1つのファイルを表示]
をクリック

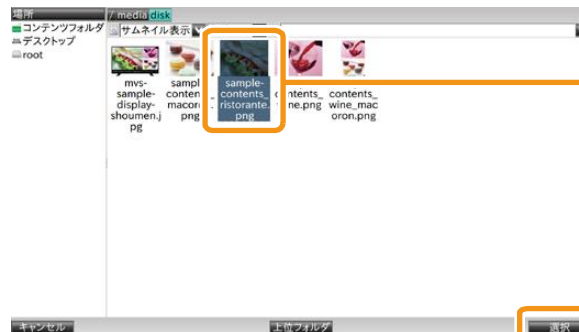


3 再生するコンテンツ素材を選択する

再生するコンテンツ素材を選択して「選択」をクリックします。

⇒ 選択したコンテンツ素材が再生されます。

再生する
コンテンツ素材を
選択



[選択] を
クリック



コンテンツの再生を終了して設定メニューに戻るには、**Ctrl+Alt+M** キーを押すか、USB メモリを抜いてください。



一度コンテンツを再生すると、通電が遮断されるまでエンドレスで再生します。



USBメモリを接続しても自動再生しないようにするには、[システム設定] 画面で [外部ストレージからの自動再生] を「無効」に設定します。設定方法については、**「3.1 システム設定」(31ページ)** を参照してください。



6.3.2 USBメモリのマニュアル再生

USBメモリに保存されたコンテンツ素材をマニュアル再生するには、[マニュアル再生] 画面で操作します。コンテンツ素材1つだけを指定したり、フォルダ内のコンテンツ素材を連続して再生したりすることもできます。ここでは、コンテンツ素材1つを指定して再生する例を説明します。

1 自動再生を「無効」に設定する

外部ストレージからの自動再生を「無効」に設定します。
設定方法については、「3.1 システム設定」(31ページ) を参照してください。

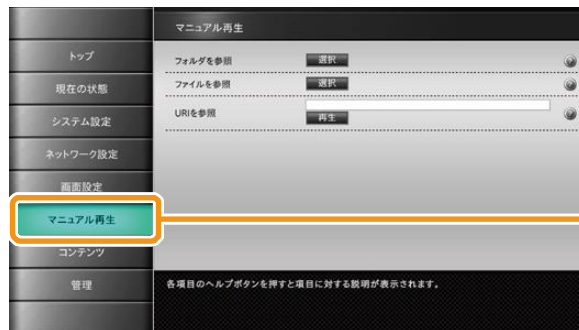
2 USBメモリを接続する

USB端子にUSBメモリを接続します。

3 [マニュアル再生] 画面を表示する

メニューエリアで [マニュアル再生] をクリックします。

➤ [マニュアル再生] 画面が表示されます。



「マニュアル再生」をクリック

4 データの読込先を選択する

「ファイルを参照」の「選択」をクリックします。

≫ 「データ選択」画面が表示されます。



マニュアル再生時に「フォルダを参照」の「選択」をクリックすると、フォルダ内のコンテンツ（サブフォルダ含む）を連続再生します。

また、「URIを参照」の「再生」をクリックすると、入力したアドレスのコンテンツを再生します。

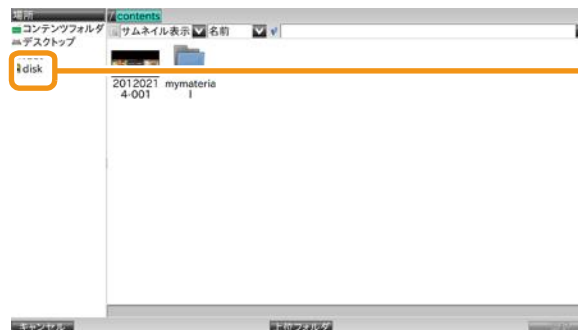


「選択」をクリック

5 USBメモリを選択する

「データ選択」画面左の「場所」から「disk」を選択します。

≫ USBメモリの中身が表示されます。



「disk」を選択

6 再生するコンテンツ素材を選択する

【データ選択】画面で再生するコンテンツ素材を選択して
【選択】をクリックします。

⇒ コンテンツ素材が再生されます。



再生する
コンテンツ
素材を選択

【選択】を
クリック



コンテンツの再生を終了して設定メニューに戻るには、
Ctrl+Alt+M キーを押すか、USB メモリを抜いてください。



一度コンテンツを再生すると、通電が遮断されるまでエン
ドレスで再生します。



6.3.3 コンテンツフォルダのマニュアル再生

〔マニュアル再生〕画面でコンテンツフォルダのコンテンツ素材を直接指定して再生できます。

〔ファイルを参照〕は、ファイル選択画面で選択したコンテンツ素材（1つ）を繰り返し再生します。

〔フォルダを参照〕は、ファイル選択画面で選択したコンテンツ素材と同階層およびサブフォルダ内に存在するコンテンツ素材を順番に再生します。

〔URIを参照〕は、入力したアドレスのコンテンツ素材、またはWebページを表示します。

1 〔マニュアル再生〕画面を表示する

メニューエリアで〔マニュアル再生〕をクリックします。

➡ 〔マニュアル再生〕画面が表示されます。



〔マニュアル再生〕をクリック

2 データ読込先を選択する

【ファイルを参照】の【選択】をクリックします。

≫ 【ファイル選択】画面が表示されます。



【フォルダを参照】の【選択】をクリックすると、【ファイル選択】画面が表示されます。また、【URIを参照】の【再生】をクリックすると、入力したアドレスのコンテンツを再生します。



【URIを参照】にはWebページを指定して再生することもできます。



【選択】をクリック

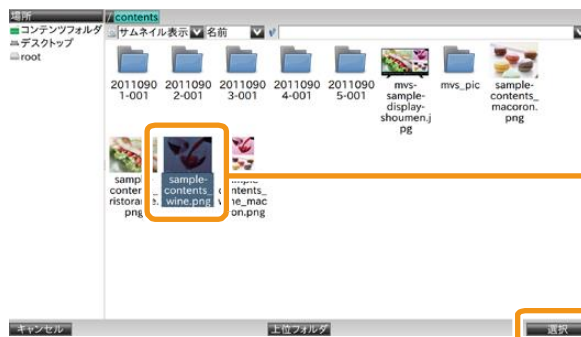
3 再生するコンテンツまたはコンテンツ素材を選択する

再生するコンテンツまたはコンテンツ素材を選択して【選択】をクリックします。

≫ 選択したコンテンツまたはコンテンツ素材が再生されます。



【フォルダを参照】の場合、選択したコンテンツ素材と同階層およびサブフォルダ内に存在するコンテンツ素材が順番に再生されます。



再生するコンテンツまたはコンテンツ素材を選択

【選択】をクリック

<手順3の続き>



コンテンツの再生を終了して設定メニューに戻るには、
Ctrl+Alt+M キーを押すか、USB メモリを抜いてください。



一度コンテンツを再生すると、通電が遮断されるまでエンドレスで再生します。



6.3.4 PCのコンテンツ素材のマニユアル再生

ネットワークに接続されているPC内のコンテンツ素材を、「MVSプレイヤー」にコピーして再生することができます。そのためには、まず「MVSプレイヤー」のネットワークを使用できる状態にする必要があります。ネットワークへの接続については、「6.1.1 ネットワークに接続するには」(64ページ)を参照してください。

また、「6.4.11 「MVSプレイヤー」間でコンテンツをコピーするには」(129ページ)の手順を参考に、別の「MVSプレイヤー」に格納されているコンテンツ素材をコピーすれば、そのコンテンツ素材を再生することもできます。

1 コンテンツフォルダを共有する

コンテンツフォルダの共有は、「6.2.1 「MVSプレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには」(75ページ)の手順1～2を参照してください。

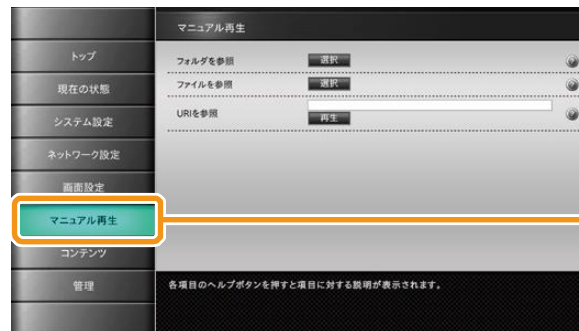
2 コンテンツ素材をPCから「MVSプレイヤー」のコンテンツフォルダへ保存する

PCからコンテンツフォルダへコンテンツ素材をコピーするには、「6.2.1 「MVSプレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには」(75ページ)の手順3～4を参照してください。

3 [マニュアル再生] 画面を表示する

メニューエリアで [マニュアル再生] をクリックします。

⇒ [マニュアル再生] 画面が表示されます。



[マニュアル再生] をクリック

4 データ読込先を選択する

[ファイルを参照] の [選択] をクリックします。

⇒ [ファイル選択] 画面が表示されます。



【フォルダを参照】の【選択】をクリックすると、【ファイル選択】画面が表示されます。また、【URIを参照】の【再生】をクリックすると、入力したアドレスのコンテンツを再生します。



[選択] を
クリック

5 コンテンツを選択する

再生するコンテンツを選択し、[選択] をクリックします。

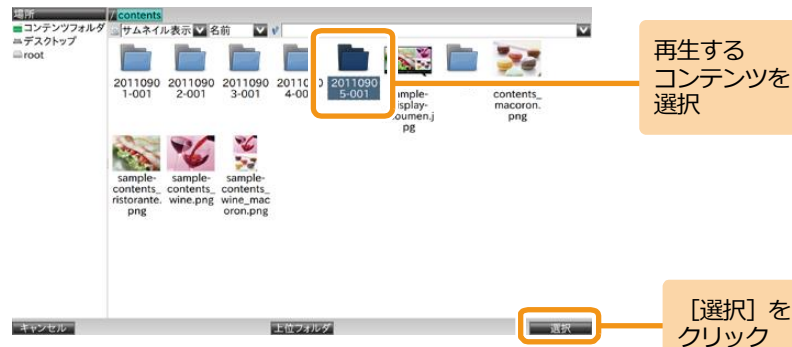
≫ [マニュアル再生] 画面が表示されます。



「フォルダを参照」の場合、選択したコンテンツ素材と同階層およびサブフォルダ内に存在するコンテンツ素材が順番に再生されます。

再生するコンテンツ内の「コンテンツ名.html」ファイルを選択して[選択] をクリックします。

≫ コンテンツが再生されます。



<手順5の続き>



コンテンツの再生を終了して設定メニューに戻るには、
Ctrl+Alt+M キーを押してください。



一度コンテンツを再生すると、通電が遮断されるまでエン
ドレスで再生します。



6.4 コンテンツに関する便利機能

6.4.1 縦1のテンプレートを使用してコンテンツを作成するには

「EMPopMaker プレイヤー版」の「コンテンツの作成・編集」で、縦型のコンテンツも作成することができます。

Memo

画面を縦置きにしくなくても縦型コンテンツの作成は可能ですが、プレビュー/再生は横置き状態で再生されます。コンテンツの作成時にプレビュー/再生を行う場合は、事前にディスプレイを縦置きにしてください。縦置きの方法は「6.1.3 ディスプレイを縦置きにするには」(68ページ)を参照してください。

1 「EMPopMaker プレイヤー版」を起動する

メニューエリアで「コンテンツ」をクリックします。

➡ 「コンテンツ」画面が表示されます。



「コンテンツ」を
クリック

<手順1の続き>

【コンテンツ】画面で、【MVSコンテンツ管理ツール】の【実行】をクリックします。

⇒ 【メインメニュー】画面が表示されます。



【実行】をクリック

2 コンテンツの作成・編集を選択する

【メインメニュー】画面で【コンテンツの作成・編集】をクリックします。

⇒ 【コンテンツ作成メニュー】画面が表示されます。

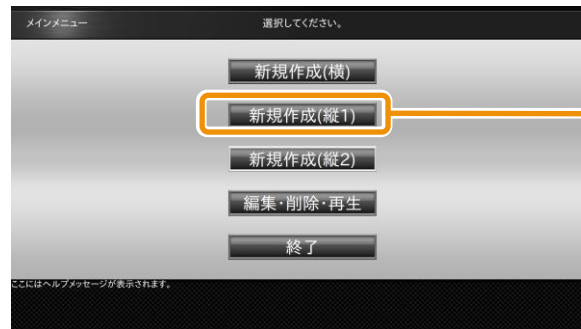


【コンテンツの作成・編集】をクリック

3 新規作成（縦1）を選択する

［コンテンツ作成メニュー］画面で［新規作成（縦1）］をクリックします。

➤ ［レイアウト選択］画面が表示されます。



［新規作成（縦1）］
をクリック

4 コンテンツを作成する

任意のレイアウトを選択し、各フレームにコンテンツ素材を設定して保存します。

コンテンツ素材の設定方法、保存方法は横型コンテンツの作成時と同じになります。詳しくは、「[4.1 コンテンツの作成](#)」（36ページ）を参照してください。



コンテンツ素材の仕様や組み合わせによっては、再生品質が保持されない場合がございます。



テロップを含むテンプレートでコンテンツを再生した場合、予期せぬ再起動が発生する場合がございます。



レイアウトを
選択して、
コンテンツ
素材をセット

6.4.2 縦2のテンプレートを使用してコンテンツを作成するには

[コンテンツの作成・編集]の縦2テンプレートでは、横長のコンテンツ素材を使って、縦長のコンテンツを作成することができます。

縦2テンプレートでは、コンテンツ素材が90度回転してコンテンツに設定されます。

そのため、縦2テンプレートに設定するコンテンツ素材はあらかじめ90度回転させておく（縦長のコンテンツ素材を横長のコンテンツ素材に変換しておく）必要があります。

また、縦レイアウトに動画を設定して再生する場合、縦1テンプレートと縦2テンプレートでは再生方法が異なるため、縦2テンプレートを使用した際に再生品質があがる場合があります。（縦2テンプレートの使用を推奨）

縦2テンプレートのコンテンツを再生するには、画面の回転設定は行わず（[回転しない]を設定）、ディスプレイだけを縦向きに回転させます。

Memo

画面の回転設定については「[3.3 画面設定](#)」（33ページ）を参照してください。



動画は1つのフレームにだけ設定することができます。



縦2テンプレートのコンテンツにはURLを設定することはできません。

1 「EMPopMaker プレイヤー版」を起動する

メニューエリアで「コンテンツ」をクリックします。

➤ 「コンテンツ」画面が表示されます。



「コンテンツ」を
クリック

「コンテンツ」画面で、[MVSコンテンツ管理ツール]の[実行]をクリックします。

➤ 「メインメニュー」画面が表示されます。



「実行」を
クリック

2 コンテンツの作成・編集を選択する

［メインメニュー］画面で［コンテンツの作成・編集］をクリックします。

➤ ［コンテンツ作成メニュー］画面が表示されます。

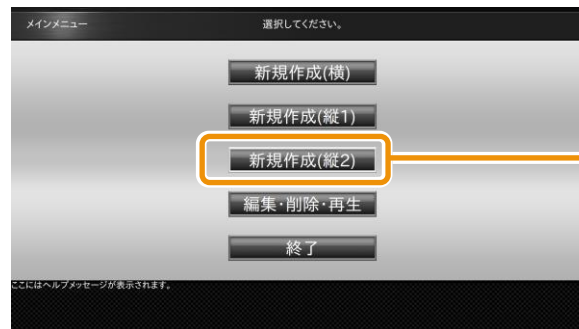


［コンテンツの作成・編集］をクリック

3 新規作成（縦2）を選択する

［コンテンツ作成メニュー］画面で［新規作成（縦2）］をクリックします。

➤ ［レイアウト選択］画面が表示されます。



［コンテンツ］をクリック

4 レイアウトを選択する

[レイアウト選択] 画面で作成するレイアウトをクリックします。ここでは、レイアウト（3分割・テロップ付き）を例に説明します。

➤ [ディスプレイの回転方向] ダイアログが表示されます。



レイアウト
(3分割)
をクリック

5 ディスプレイの回転方向を選択する

[ディスプレイの回転方向] ダイアログでコンテンツ素材の回転方向をクリックします。

ここでは、右90度回転を例に説明します。

➤ コンテンツ素材を選択する画面が表示されます。



回転方向を
をクリック

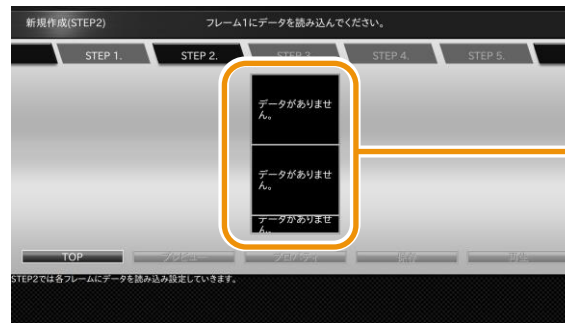
Memo

ディスプレイの回転方向は、コンテンツ素材の設定後に「プロパティ」ダイアログの[ディスプレイの回転方向]でも変更することができます。

詳しくは、「6.4.4 コンテンツ全体の詳細な設定をするには」(107ページ)を参照してください。

6 コンテンツを作成する

各フレームにコンテンツ素材を設定して保存します。
コンテンツ素材の設定方法、保存方法は横型コンテンツの作成方法と同じになります。詳しくは、「[4.1 コンテンツの作成](#)」(36ページ)を参照してください。



レイアウトを選択してコンテンツ素材をセット

6.4.3 コンテンツの編集・削除をするには

コンテンツを編集・削除するには、「EMPopMaker プレイヤー版」を起動し、[コンテンツの作成・編集] の [編集・削除・再生] から行います。ここでは、コンテンツを編集する手順を説明します。コンテンツを削除する場合は、手順1～5の後、[削除] ボタンをクリックしてください。

①コンテンツ素材を準備する



②編集・削除・再生を選択する



③コンテンツを選択する



④コンテンツを編集する



⑤保存する

1 コンテンツ素材を準備する

編集に使用するコンテンツ素材は、あらかじめコンテンツフォルダまたはUSBメモリに用意する必要があります。

2 「EMPopMaker プレイヤー版」を起動する

メニューエリアで「コンテンツ」をクリックします。

➤ 「コンテンツ」画面が表示されます。



「コンテンツ」を
クリック

「コンテンツ」画面で、「MVSコンテンツ管理ツール」の「実行」をクリックします。

➤ 「メインメニュー」画面が表示されます。



「実行」を
クリック

3 コンテンツの作成・編集を選択する

［メインメニュー］画面で［コンテンツの作成・編集］をクリックします。

⇒ ［コンテンツ作成メニュー］画面が表示されます。

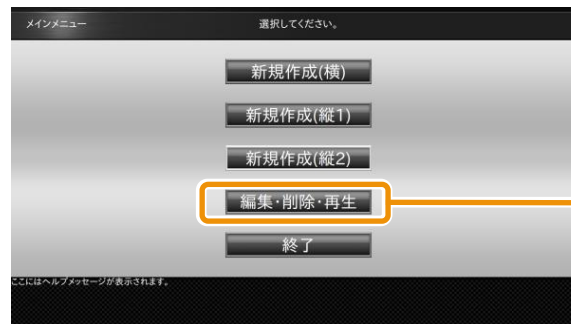


［コンテンツの作成・編集］をクリック

4 編集・削除・再生を選択する

コンテンツを編集するには、［メインメニュー］画面の［編集・削除・再生］をクリックします。

⇒ コンテンツフォルダの中身が表示されます。



［編集・削除・再生］をクリック

5 コンテンツを選択する

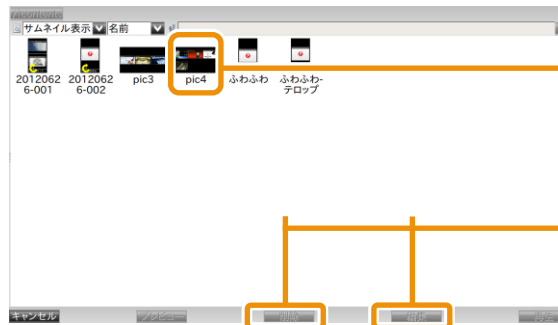
編集するコンテンツを選択して「編集」をクリックします。

➤ 「編集」画面が表示され、編集が可能な状態になります。

コンテンツを削除するには、ここで「削除」をクリックします。

Memo

縦2テンプレートで作成したコンテンツには、サムネイルに回転方向を示すアイコンが表示されます。



編集または削除
するコンテンツ
を選択

「編集」または
「削除」をクリック

6 コンテンツを編集する

コンテンツ素材の追加・削除、またはレイアウトを変更できます。コンテンツ素材を追加するには、変更したいフレームをクリックし、新規作成時と同じ操作を行います。

設定済みのコンテンツ素材を削除するには、「6.4.8 フレームに設定されているコンテンツ素材を個別に削除するには」(123ページ)、「6.4.9 フレームに設定されているコンテンツ素材をすべて削除するには」(125ページ)を参照してください。

ここでは、レイアウト(3分割)からレイアウト(2分割)に変更する例を説明します。



「レイアウト
切替」を
クリック

<手順6の続き>

「レイアウト切替」をクリックします。

➤ 「編集」画面上にレイアウト選択ガイダンスが表示されます。

レイアウト（2分割）をクリックします。

➤ 変更するレイアウトイメージが表示されます。

Memo

縦2テンプレートの場合、レイアウトの選択後に、[ディスプレイの回転方向] ダイアログが表示されます。
詳しくは、「6.4.4 コンテンツ全体の詳細な設定をするには」
(107ページ) を参照してください。



レイアウト
(2分割) を
クリック

7 保存する

編集したコンテンツをプレビューする、保存する手順については、「4.1 コンテンツの作成」(36ページ) の手順7～8を参照してください。

6.4.4 コンテンツ全体の詳細な設定をするには

コンテンツの作成・編集時に、[プロパティ]をクリックして、コンテンツ終了のタイミング、テロップやフレームサイズの詳細などを設定することができます。

設定項目	説明
コンテンツ終了のタイミング	コンテンツを終了するタイミング（固定時間、次の終了、タイムテーブルの指定範囲の終了、終了しない）
テロップ効果	テロップに対する効果（文字の拡大率、垂直同期補正）の設定
フレームサイズ設定	各フレームサイズの設定
ディスプレイの回転方向	縦2テンプレート選択時のディスプレイの回転方向を設定

1 [プロパティ] ダイアログを表示する

「EMPopMaker プレイヤー版」を起動し、[コンテンツの作成・編集] をクリックします。[新規作成(横)] をクリック後、3フレームのレイアウトを選択します。各フレームにコンテンツ素材を設定します。

ここでは、フレーム1に動画、フレーム2に静止画、フレーム3にテロップを設定した場合の解説をします。

[プロパティ] をクリックします。

≫ [プロパティ] ダイアログが表示されます。



コンテンツの作成方法の詳細は、「4.1 コンテンツの作成」(36ページ) を参照してください。



2 コンテンツ終了のタイミングを設定する

コンテンツ終了のタイミングは、以下の4つを設定できます。

■ 固定時間

固定時間でコンテンツの再生を終了します。

■ 次の終了

指定されたフレーム（動画またはテロップ）の再生が終わったタイミングで、コンテンツの再生を終了します。



「次の終了」が指定されたコンテンツをタイムテーブルに設定した場合、終了時刻を過ぎても指定されたフレームの再生が終わるまでは再生は継続されます。

■ タイムテーブルの指定範囲の終了

タイムテーブルに指定された終了時刻でコンテンツの再生を終了します。



「タイムテーブルの指定範囲の終了」が指定されたコンテンツをタイムテーブルに設定せずに再生した場合、コンテンツは永続的に再生されます。



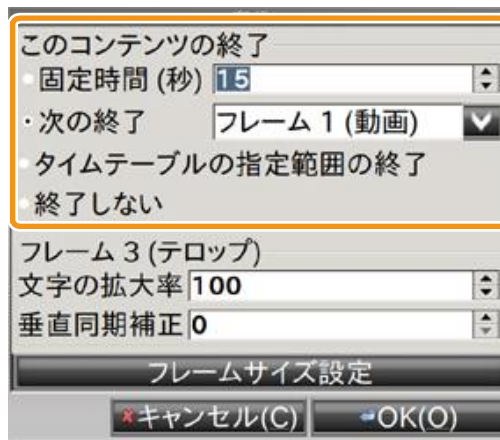
「タイムテーブルの指定範囲の終了」のコンテンツをタイムテーブルに指定する場合、1つの再生時間帯にこのコンテンツ以外のコンテンツは指定しないでください。
（コンテンツ終了のタイミングがタイムテーブルの終了時間に設定されるため、1つの再生時間帯に複数のコンテンツが設定されていても、他のコンテンツは再生されません。）

■ 終了しない

コンテンツの再生を永続的に行います。



「終了しない」が指定されたコンテンツがタイムテーブルに指定された場合も、終了時間にかかわらず永続的な再生が行われます。
（タイムテーブルへの指定は非推奨）

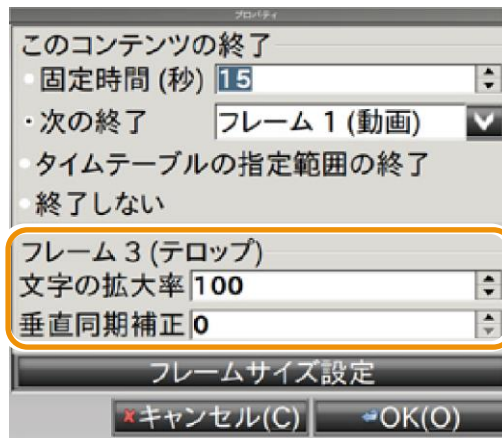


3 テロップ効果を設定する

テロップの拡大率、垂直同期補正を設定します。
テロップの拡大率は10～1000%、垂直同期補正は0～20000の値を設定できます。

Memo

テロップ効果はテロップ付きのコンテンツでのみ設定可能です。



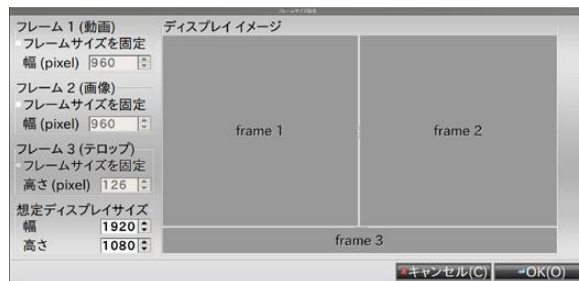
4 フレームサイズを設定する

まず想定ディスプレイサイズに、コンテンツを再生するディスプレイのサイズを入力します。

次に、[フレームサイズを固定] にチェックを入れ、フレームの高さ・幅を設定します。



想定ディスプレイサイズ、フレームサイズの設定値によっては、コンテンツに設定した動画、静止画などが表示されない場合があります。フレームサイズの設定後は、プレビューでコンテンツの表示状態を確認してください。

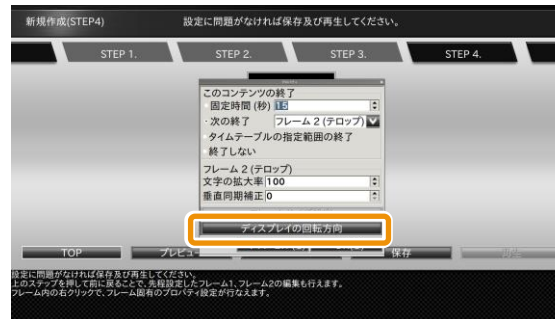


5 ディスプレイの回転方向を設定する

右90度回転、左90度回転を選択します。

Memo

ディスプレイの回転方向の設定は、縦2テンプレート選択時のみ設定可能です。



6.4.5 各フレームの詳細な設定をするには

コンテンツの作成・編集時に、[フレーム固有のプロパティ] を表示すると、各フレームに設定した動画・静止画・テロップ・Flash・URLの詳細を設定することができます。

プロパティで設定できる内容は以下のとおりです。

設定項目	説明	コンテンツ素材				
		動画	静止画	テロップ	Flash	URL
アスペクト比の保持	コンテンツ素材の縦横比を保持させる	○	○	×	×	×
表示時間（秒）	各コンテンツ素材の表示時間（秒）	×	○	×	○	○
フェード効果	フェード効果を設定する	×	○	×	×	×
ステップ	フェード効果のスピード	×	○	×	×	×
スピード	テロップの流れるスピード	×	×	○	×	×
テロップ色	テロップの色（文字色、背景色）	×	×	○	×	×



フレームに設定したコンテンツ素材によって、プロパティで設定可能な情報は変化します。

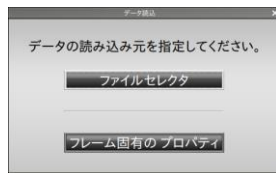
1 フレーム1の「プロパティ」ダイアログを表示する

「EMPopMaker プレイヤー版」を起動し、[コンテンツの作成・編集]をクリックします。[新規作成（横）]をクリック後、3フレームのレイアウトを選択します。各フレームにコンテンツ素材を設定します。

ここでは、フレーム1に動画、フレーム2に静止画、フレーム3にテロップを設定した場合の解説をします。

フレーム1を右クリックし、[フレーム1プロパティ]をクリックします。

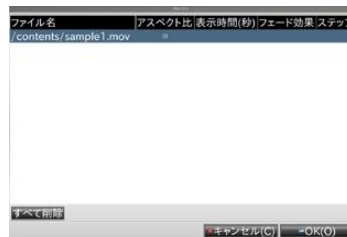
フレーム1の「プロパティ」ダイアログは、フレーム1をクリックしてデータ読み込みダイアログの[フレーム固有のプロパティ]をクリックすることでも表示できます。



2 アスペクト比の保持を設定する（動画）

動画にアスペクト比保持を設定することができます。

フレーム1には、動画、静止画、Flash、URLを設定することができます。各素材のプロパティに関しては、「6.4.5 各フレームの詳細な設定をするには」（112ページ）を参照してください。



3 フレーム2の【プロパティ】ダイアログを表示する

フレーム2を右クリックし、【フレーム2プロパティ】をクリックします。



フレーム2の【プロパティ】ダイアログは、フレーム2をクリックしてデータ読込ダイアログの【フレーム固有のプロパティ】をクリックすることでも表示できます。



4 アスペクト比の保持を設定する（静止画）

静止画にアスペクト比保持を設定することができます。



5 表示時間（秒）を設定する（静止画）

静止画の表示時間を秒単位で設定することができます。



6 フェード効果を設定する（静止画）

フェード効果として、「フェードイン」、「フェードアウト」、「クロスフェード」、「なし」を設定することができます。



7 ステップを設定する（静止画）

ステップの値を設定することで、フェードインフェードアウト完了までの時間を調整することができます。

ステップの値が大きいほど、フェードインフェードアウト完了までの時間は長くなります。

ステップとして、プルダウンでは「50」、「100」、「200」、「500」、「1000」、または直接入力で50～1000の間の任意の値を設定することができます。



8 フレーム3の「プロパティ」ダイアログを表示する

フレーム3を右クリックし、「フレーム3プロパティ」をクリックします。



フレーム3の「プロパティ」ダイアログは、フレーム3をクリックしてデータ読込ダイアログの「フレーム固有のプロパティ」をクリックすることでも表示できます。



9 スピードを設定する（テロップ）

スピードの値を設定することで、テロップの表示スピードを調整することができます。

スピードの値が大きいほど、テロップの表示スピードは速くなります。

スピードとして、プルダウンで「1」～「10」を設定することができます。



10 テロップ色を設定する（テロップ）

テロップの文字色、背景色を設定することができます。



テロップ色欄に表示されている2つの色は、左は文字色、右は背景色を示しています。



6.4.6 1つのフレームに同一のコンテンツ素材を設定するには

1つのフレームに同一のコンテンツ素材を設定するには、[フレーム固有のプロパティ] から操作する必要があります。
ここでは、フレーム1に設定されているコンテンツ素材を、フレーム1にコピーする方法について説明します。

1 フレーム1の[プロパティ] ダイアログを表示する

フレーム1を右クリックし、[フレーム1プロパティ] をクリックします。

➤ [プロパティ] ダイアログが表示されます。

Memo

フレーム1の[プロパティ] ダイアログは、フレーム1をクリックしてデータ読込ダイアログの[フレーム固有のプロパティ] をクリックすることでも表示できます。

Memo

他のフレームでもコンテンツ素材のコピーはできます。コピーを行いたいフレームを右クリックして、同様の操作を行ってください。



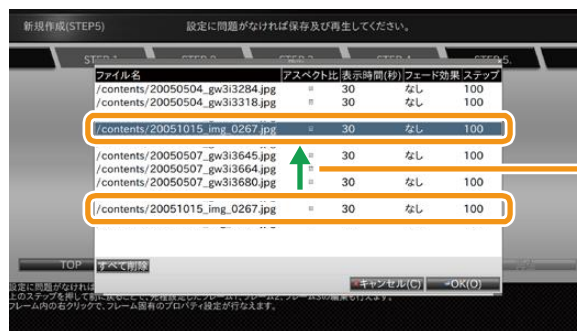
フレーム 1 に設定されているコンテンツ素材をフレーム 2 に移動するといった、フレーム間の操作はできません。



2 コンテンツ素材をコピーする

コピーを行いたいコンテンツ素材を選択します。
コンテンツ素材の選択後、Ctrlキーを押して、コピーを行いたい場所にコンテンツ素材をドラッグ&ドロップをします。

➤ コンテンツ素材がコピーされます。



6.4.7 フレームに設定されているコンテンツ素材を並べ替えるには

フレームに複数のコンテンツ素材が設定されている際、[フレーム固有のプロパティ] からコンテンツ素材の並べ替えを行うことができます。ここでは、フレーム1に設定されているコンテンツ素材の並べ替え方法について説明します。

1 フレーム1の[プロパティ] ダイアログを表示する

フレーム1を右クリックし、[フレーム1プロパティ] をクリックします。

⇒ [プロパティ] ダイアログが表示されます。

Memo

フレーム1の[プロパティ] ダイアログは、フレーム1をクリックしてデータ読込ダイアログの[フレーム固有のプロパティ] をクリックすることでも表示できます。

Memo

他のフレームでもコンテンツ素材の並べ替えはできます。並べ替えを行いたいフレームを右クリックして、同様の操作を行ってください。



フレーム 1 に設定されているコンテンツ素材をフレーム 2 に移動するといった、フレーム間の操作はできません。



2 コンテンツ素材を並べえる

並べえを行うコンテンツ素材を選択し、移動したい場所にドラッグ&ドロップをします。

⇒ コンテンツ素材の順番が入れ替わります。



6.4.8 フレームに設定されているコンテンツ素材を個別に削除するには

フレームに設定されているコンテンツをフレームから削除することができます。

ここでは、フレーム1に設定されているコンテンツ素材を削除する方法について説明します。

1 フレーム1の【プロパティ】ダイアログを表示する

フレーム1を右クリックし、【フレーム1プロパティ】をクリックします。

➤ 【プロパティ】ダイアログが表示されます。

Memo

フレーム1の【プロパティ】ダイアログは、フレーム1をクリックしてデータ読み込みダイアログの【フレーム固有のプロパティ】をクリックする

Memo

他のフレームでもコンテンツ素材の削除はできます。削除を行いたいフレームを右クリックして、同様の操作を行ってください。



2 コンテンツ素材を削除する

削除を行うコンテンツ素材を右クリックし、[削除] をクリックします。

⇒ フレームからコンテンツ素材が削除されます。



削除操作によって、フレームにコンテンツ素材が 1 つも設定されていない場合、そのコンテンツを保存することはできません。

コンテンツ素材を 1 つ以上設定する必要があります。



6.4.9 フレームに設定されているコンテンツ素材をすべて削除するには

フレームに設定されているコンテンツ素材を、一度にすべて削除することができます。
ここでは、フレーム1に設定されているコンテンツをすべて削除する方法について説明します。

1 フレーム1の【プロパティ】ダイアログを表示する

フレーム1を右クリックし、【フレーム1プロパティ】をクリックします。

➤ 【プロパティ】ダイアログが表示されます。

Memo

フレーム1の【プロパティ】ダイアログは、フレーム1をクリックしてデータ読込ダイアログの【フレーム固有のプロパティ】をクリックすることでも表示できます。

Memo

他のフレームでもコンテンツ素材の全削除はできます。全削除を行いたいフレームを右クリックして、同様の操作を行ってください。



2 コンテンツ素材をすべて削除する

「すべて削除」をクリックします。

⇒ フレームからコンテンツ素材がすべて削除されます。



フレームにコンテンツ素材が1つも設定されていない場合、そのコンテンツを保存することはできません。
全削除操作後は、当該フレームにコンテンツ素材を1つ以上設定する必要があります。



6.4.10 各コンテンツ素材の表示時間とコンテンツ終了のタイミングの関係性

ここでは、各コンテンツ素材に設定した表示時間とコンテンツ終了のタイミングの関係性について説明します。

(1) 表示時間と「固定時間」の関係

あるフレームに設定されているコンテンツ素材の表示時間の合計値と、コンテンツ自身に設定されている表示時間（＝固定時間）では、固定時間が優先されます。

条件	動作
表示時間合計値 ≥ 固定時間	固定時間となるまで、フレームに設定されているコンテンツ素材が各表示時間のとおりに再生されます。固定時間の秒数が経過した際、フレーム内に表示されていないコンテンツ素材が存在したとしても、コンテンツは最初から再生されます。
表示時間合計値 < 固定時間	固定時間となるまで、フレームに設定されているコンテンツ素材が各表示時間のとおりに再生されます。フレームに設定されているコンテンツ素材の表示がすべて終わったにもかかわらず固定時間が残っている場合は、そのフレームは再度最初から再生を開始します（固定時間はリセットされません）。固定時間の秒数が経過した際、（2周目以降の）再生途中でも、コンテンツは最初から再生されます。

(2) 表示時間と「次の終了」の関係

コンテンツ終了のタイミングに「次の終了」を設定している場合、「次の終了」に指定したフレームの表示時間がコンテンツ終了のタイミングとなります。横3フレームのレイアウトで以下のようなコンテンツ素材が設定されている場合を例に説明します。

フレーム	設定されているコンテンツ	合計表示秒数
フレーム1	60秒の動画3つ	180秒
フレーム2	表示秒数が10秒に設定された静止画3つ	30秒
フレーム3	スクロールに10秒かかるテロップ2つ	20秒

フレーム1を終了のタイミングに設定した場合は、コンテンツは180秒で繰り返し再生します（コンテンツが1回再生し終わるまでに、フレーム2は6周、フレーム3は9周繰り返しされます）。また、フレーム3を終了のタイミングに設定した場合は、フレーム1、フレーム2は共に表示し終わりませんが、20秒で繰り返し再生されます。

（3）表示時間と「タイムテーブルの指定範囲の終了」の関係

コンテンツ終了のタイミングに「タイムテーブルの指定範囲の終了」が設定された場合、当該コンテンツをタイムテーブルに指定しない限り、コンテンツは終了のタイミングを持ちません。そのため、各フレームに設定されているコンテンツ素材は他のフレームの表示時間に影響されることなく、コンテンツ素材を順番に再生します（コンテンツが仕切り直しとなるタイミングがありません）。

タイムテーブルに設定された際は、終了時間となったタイミングで、コンテンツの再生途中に関係なく再生終了となります。

（4）表示時間と「終了しない」の関係

コンテンツ終了のタイミングに「終了しない」が設定された場合は、「タイムテーブルの指定範囲の終了」と同様、コンテンツ終了のタイミングを持ちません。各フレームに設定されているコンテンツ素材は他のフレームの表示時間に影響されることなく、コンテンツ素材を順番に再生します。なお、終了のタイミングが「終了しない」に設定されているコンテンツは、タイムテーブルに設定されても終了時間に関係なくコンテンツの再生を継続します。



各コンテンツ素材には以下の表示時間を設定できます。

動画、静止画：1～86400（秒）

Flash、URL：0～86400（秒）

Flash、URL に 0 秒が設定された場合、そのコンテンツ素材を再生し続けます（コンテンツの切り替えは行われません）。

6.4.11 「MVSプレイヤー」間でコンテンツをコピーするには

ネットワーク上に「MVSプレイヤー」を複数台接続している状態で、プレイヤー同士のコンテンツを相互にコピーできます。そのためには、最初にネットワークを使用できる状態にして、各プレイヤーのコンテンツフォルダを共有します。ネットワークに接続したPCから、共有している各プレイヤーのコンテンツフォルダをすべて表示させ、コピーします。

ネットワークへの接続は、「6.1.1 ネットワークに接続するには」(64ページ)を参照してください。



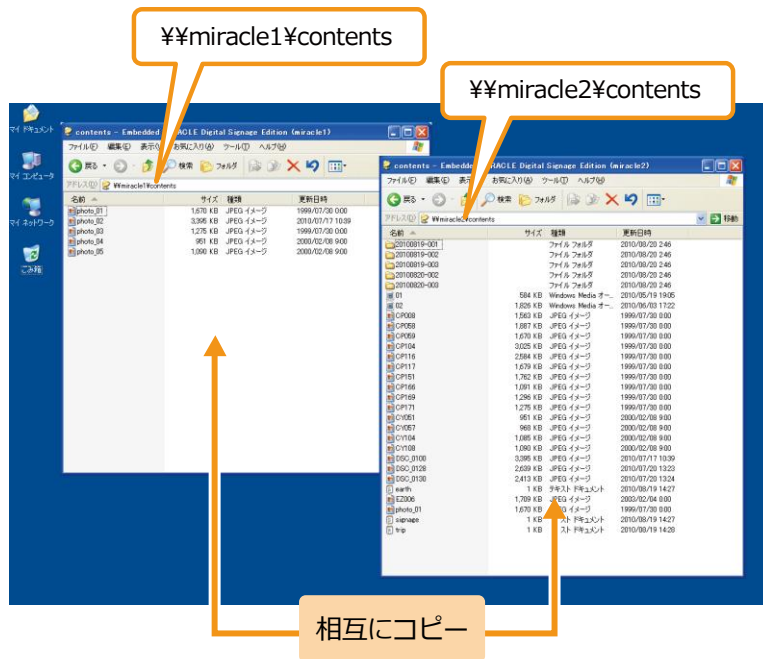
「複数台のMVSプレイヤー」間でコンテンツをコピーするには、各プレイヤーの【端末名】を区別する必要があります。【端末名】の設定については、「3.1 システム設定」(31ページ)を参照してください。

1 コンテンツフォルダを共有する

コピーするすべてのプレイヤーのコンテンツフォルダを共有します。コンテンツフォルダの共有は、「6.2.1 「MVSプレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには」(75ページ)を参照してください。

2 PCの画面に共有しているコンテンツフォルダを表示する

共有しているすべてのプレイヤーのコンテンツフォルダを表示させます。



3 フォルダ間でコンテンツをコピーする

表示しているコンテンツフォルダ同士でコンテンツをコピーします。PCから共有しているコンテンツフォルダへのコピー操作については、「[6.2.1 「MVSプレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには](#)（75ページ）の手順4を参照してください。

6.5 タイムテーブルに関する便利機能

6.5.1 タイムテーブルを編集するには

ここでは、タイムテーブルを編集する方法について説明します。

1 「EMPopMaker プレイヤー版」を起動する

メニューエリアで「コンテンツ」をクリックします。

➤ 「コンテンツ」画面が表示されます。



「コンテンツ」を
クリック

「コンテンツ」画面で、[MVSコンテンツ管理ツール]の[実行]をクリックします。

➤ 「メインメニュー」画面が表示されます。



「実行」を
クリック

2 タイムテーブルの作成・編集を起動する

「EMPopMaker プレイヤー版」の「メインメニュー」画面で「タイムテーブルの作成・編集」をクリックします。

≫ 「コンテンツ」画面が表示されます。

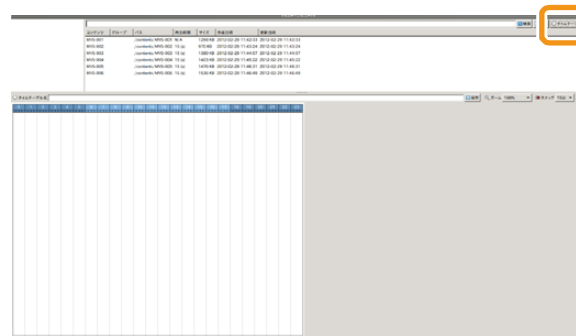


「タイムテーブルの作成・編集」をクリック

3 編集するタイムテーブルを選択する

「タイムテーブル一覧」をクリックします。

≫ 「タイムテーブル一覧」画面が表示されます。

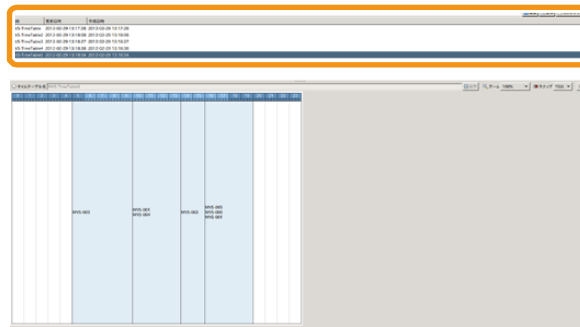


「タイムテーブル一覧」をクリック

<手順3の続き>

タイムテーブル一覧から編集するタイムテーブルを選択します。

⇒ タイムテーブル表に選択したタイムテーブルが表示されます。

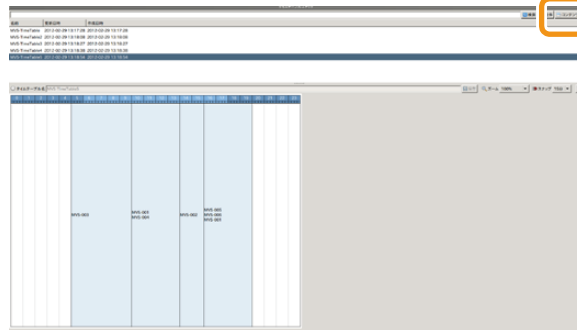


編集する
タイムテーブル
をクリック

4 タイムテーブルを編集する

「コンテンツ一覧」をクリックします。

⇒ 「タイムテーブル作成」画面が表示されます。

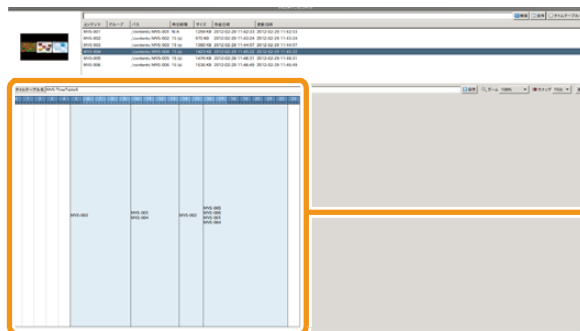


「コンテンツ
一覧」をクリック

<手順4の続き>

コンテンツ一覧から任意のコンテンツをタイムテーブル表にドラッグ&ドロップします。コンテンツを設定後、再生時間の調整を行います。

詳しい操作方法は、「4.2 タイムテーブルの作成」(46ページ)を参照してください。



タイムテーブル
を編集

5 保存する

[タイムテーブル名] 欄には、編集前のタイムテーブル名が表示されています。上書き保存する場合は、そのまま[保存]をクリックします。

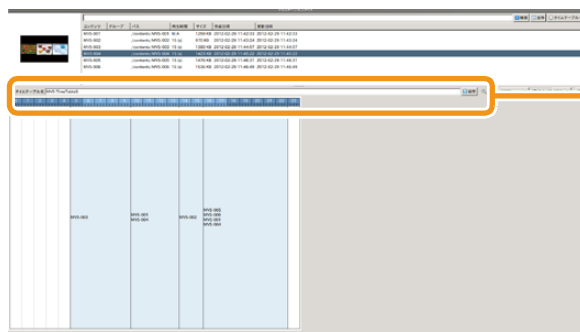
別名で保存する場合は、タイムテーブル名を編集後、[保存]をクリックします。

⇒ タイムテーブルが保存されます。



以下の文字はタイムテーブル名に使用できません。

’ ¥ %



タイムテーブル
名を入力して、
[保存] を
クリック

6.5.2 タイムテーブルを削除するには

ここでは、タイムテーブルを削除する方法について説明します。

1 「EMPopMaker プレイヤー版」を起動する

メニューエリアで「コンテンツ」をクリックします。

➤ 「コンテンツ」画面が表示されます。



「コンテンツ」をクリック

「コンテンツ」画面で、[MVSコンテンツ管理ツール]の[実行]をクリックします。

➤ 「メインメニュー」画面が表示されます。



「実行」をクリック

2 タイムテーブルの作成・編集を起動する

「EMPopMaker プレイヤー版」の「メインメニュー」画面で「タイムテーブルの作成・編集」をクリックします。

⇒ 「コンテンツ」画面が表示されます。

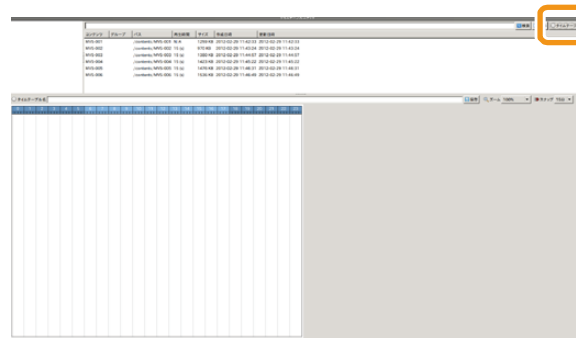


「タイムテーブルの作成・編集」をクリック

3 タイムテーブルを削除する

「タイムテーブル一覧」をクリックします。

⇒ 「タイムテーブル一覧」画面が表示されます。



「タイムテーブル一覧」をクリック

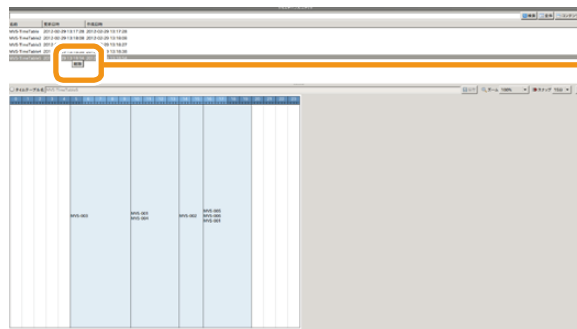
<手順3の続き>

タイムテーブル一覧で、削除するタイムテーブルを右クリックし、[削除] をクリックします。

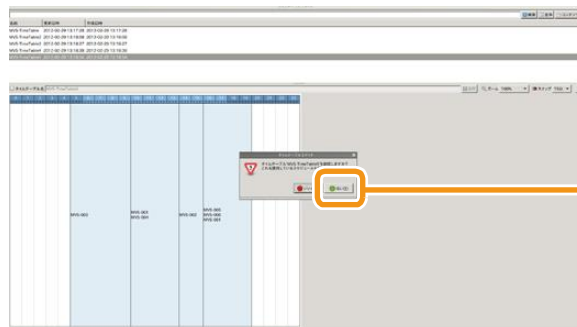
➤ 削除確認ダイアログが表示されます。

削除確認ダイアログで、[はい] をクリックします。

➤ タイムテーブルが削除されます。



削除する
タイムテーブル
を右クリック



[はい] を
クリック

6.5.3 タイムテーブルを確認するには

ここでは、作成したタイムテーブルの確認方法について説明します。

1 「EMPopMaker プレイヤー版」を起動する

メニューエリアで「コンテンツ」をクリックします。

➤ 「コンテンツ」画面が表示されます。



「コンテンツ」をクリック

「コンテンツ」画面で、「MVSコンテンツ管理ツール」の「実行」をクリックします。

➤ 「メインメニュー」画面が表示されます。



「実行」をクリック

2 タイムテーブルの作成・編集を起動する

「EMPopMaker プレイヤー版」の「メインメニュー」画面で「タイムテーブルの作成・編集」をクリックします。

≫ 「タイムテーブル作成」画面が表示されます。

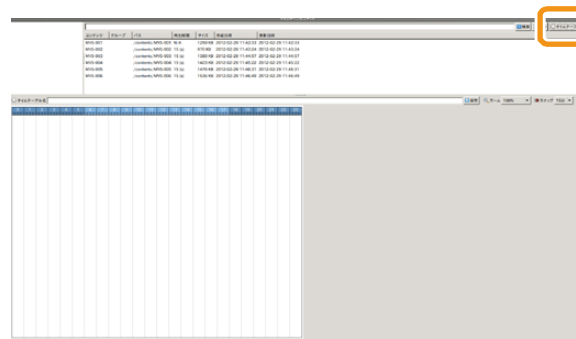


「タイムテーブルの作成・編集」をクリック

3 タイムテーブルを確認する

「タイムテーブル一覧」をクリックします。

≫ 「タイムテーブル一覧」画面が表示されます。

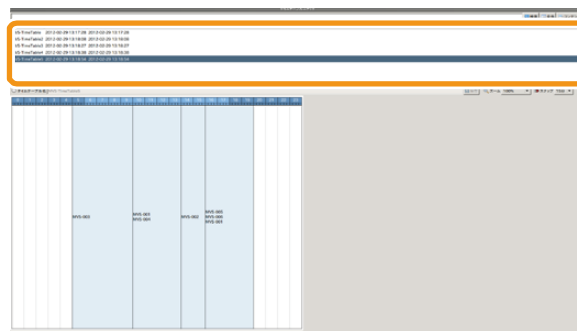


「タイムテーブル一覧」をクリック

<手順3の続き>

タイムテーブル一覧から確認したいタイムテーブルを選択します。

⇒ タイムテーブル表にタイムテーブルが表示されます。



確認したい
タイムテーブル
をクリック

6.5.4 コンテンツ終了のタイミングとタイムテーブルの関係性

コンテンツをタイムテーブルに指定して再生する際、コンテンツ終了のタイミング（「6.4.4 コンテンツ全体の詳細な設定をするには」（107ページ）の手順1、2参照）によって、タイムテーブル再生時の動作が異なります。また、タイムテーブルの1つの再生時間帯（あるコンテンツの再生時間の幅）にコンテンツを1つだけ設定する場合と、複数のコンテンツを設定する場合とでも動作が異なります。

ここでは、それぞれの終了タイミングを持つコンテンツをタイムテーブルに設定した際の動作についてまとめます。



終了のタイミングによっては、タイムテーブルのとおり再生されない可能性があります。「タイムテーブルへの使用は非推奨」と記載しているパターンでの再生は、行わないようにしてください。

(1) タイムテーブルの1つの再生時間帯にコンテンツを1つだけ設定して再生した場合

コンテンツ終了のタイミング	タイムテーブルには設定しないで再生した場合の動作 (コンテンツ配信による再生)	1つの再生時間帯にコンテンツを1つだけ設定して再生した場合の動作
固定時間（秒）	固定時間に指定した秒数で、再生を繰り返します。	タイムテーブルの終了時刻となった際、再生中のコンテンツは継続して再生されます。固定時間経過後、次の再生時間帯のコンテンツが再生されます。
次の終了	次の終了に設定したフレームの再生が終わったタイミングを1周として、コンテンツの再生を繰り返します。	タイムテーブルの終了時刻となった際、再生中のコンテンツは継続して再生されます。フレーム再生の終了後、次の再生時間帯のコンテンツが再生されます。
タイムテーブルの指定範囲の終了	延々とコンテンツを再生します（再生の仕切り直しはありません）。	タイムテーブルの終了時刻となった際、コンテンツの再生は中断し、次の再生時間帯のコンテンツの再生が開始します。
終了しない	延々とコンテンツを再生します（再生の仕切り直しはありません）。	タイムテーブルの終了時刻となった後も、延々とコンテンツを再生し続けます（タイムテーブルへの使用は非推奨）。

(2) タイムテーブルの1つの再生時間帯に複数のコンテンツを設定して再生した場合の動作

1つ目のコンテンツ 終了のタイミング	2つ目のコンテンツ 終了のタイミング	1つの再生時間帯に複数のコンテンツを設定して再生した場合の動作
固定時間（秒）	固定時間（秒）	2つのコンテンツを交互に再生します。タイムテーブルの終了時刻となった際、再生中のコンテンツの再生（固定時間経過）が終わったら、次の再生時間帯のコンテンツが再生されます。
	次の終了	2つのコンテンツを交互に再生します。タイムテーブルの終了時刻となった際、再生中のコンテンツの再生が終わったら（固定時間経過orフレーム再生終了）、次の再生時間帯のコンテンツが再生されます。
	タイムテーブルの 指定範囲の終了	1つ目のコンテンツを再生後、2つ目のコンテンツを再生しますが、タイムテーブルの終了時刻となるまで、2つ目のコンテンツを繰り返し再生し続けます。終了時刻以降は、次の再生時間帯のコンテンツが再生されます（タイムテーブルへの使用は非推奨）。
	終了しない	1つ目のコンテンツを再生後、2つ目のコンテンツを再生しますが、タイムテーブルの終了時刻以降も、2つ目のコンテンツを繰り返し再生し続けます（タイムテーブルへの使用は非推奨）。
次の終了	固定時間（秒）	2つのコンテンツを交互に再生します。タイムテーブルの終了時刻となった際、再生中のコンテンツの再生が終わったら（固定時間経過orフレーム再生終了）、次の再生時間帯のコンテンツが再生されます。
	次の終了	2つのコンテンツを交互に再生します。タイムテーブルの終了時刻となった際、再生中のコンテンツの再生（フレーム再生）が終わったら、次の再生時間帯のコンテンツが再生されます。
	タイムテーブルの 指定範囲の終了	1つ目のコンテンツ再生後、2つ目のコンテンツを再生しますが、タイムテーブルの終了時刻となるまで、2つ目のコンテンツを繰り返し再生し続けます。終了時刻以降は、次の再生時間帯のコンテンツが再生されます（タイムテーブルへの使用は非推奨）。
	終了しない	1つ目のコンテンツ再生後、2つ目のコンテンツを再生しますが、タイムテーブルの終了時刻以降も、2つ目のコンテンツを再生し続けます（タイムテーブルへの使用は非推奨）。
タイムテーブルの指定 範囲の終了	固定時間（秒）	タイムテーブルの終了時刻になるまで、1つ目のコンテンツを繰り返し再生し続けます（2つ目のコンテンツは再生されません）。終了時刻以降は、次の再生時間帯のコンテンツが再生されます（タイムテーブルへの使用は非推奨）。
	次の終了	
	タイムテーブルの指定 範囲の終了	
	終了しない	

1つ目のコンテンツ 終了のタイミング	2つ目のコンテンツ 終了のタイミング	1つの再生時間帯に複数のコンテンツを設定して再生した場合の動作
終了しない	固定時間（秒）	タイムテーブルの終了時刻以降も、1つ目のコンテンツを繰り返し再生し続けます（2つ目のコンテンツは再生されません）。（タイムテーブルへの使用は非推奨）
	次の終了	
	タイムテーブルの指定 範囲の終了	
	終了しない	

6.6 スケジュールに関する便利機能

6.6.1 スケジュールを編集するには

ここでは、スケジュールの編集方法について説明します。

1 「EMPopMaker プレイヤー版」を起動する

メニューエリアで「コンテンツ」をクリックします。

➤ 「コンテンツ」画面が表示されます。



「コンテンツ」を
クリック

「コンテンツ」画面で、「MVSコンテンツ管理ツール」の「実行」をクリックします。

➤ 「メインメニュー」画面が表示されます。



「実行」を
クリック

2 スケジュールの作成・編集を起動する

「EMPopMaker プレイヤー版」の［メインメニュー］画面で［スケジュールの作成・編集］をクリックします。

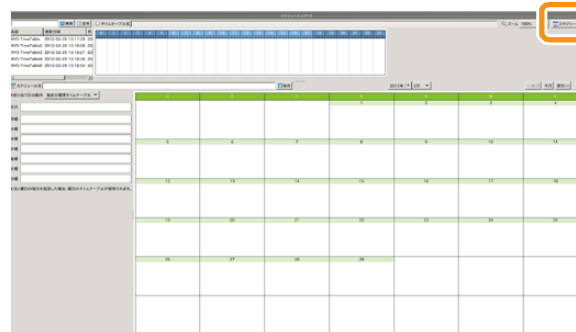
➤ 「スケジュール作成」画面が表示されます。



3 編集するスケジュールを選択する

［スケジュール一覧］をクリックします。

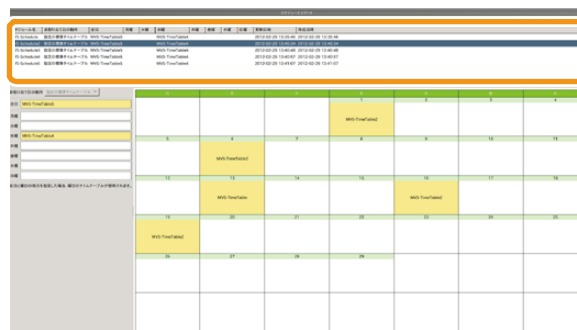
➤ 「スケジュール一覧」画面が表示されます。



<手順3の続き>

スケジュール一覧から確認するスケジュールを選択します。

⇒ スケジュール表に選択したスケジュールが表示されます。



編集する
スケジュール
をクリック

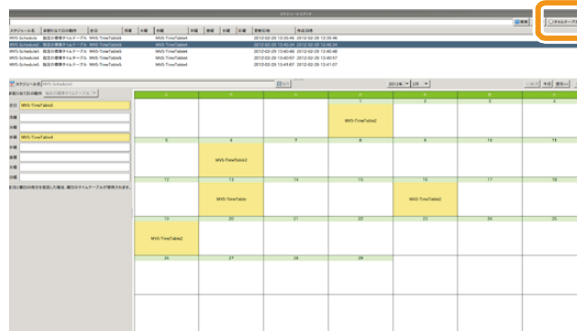
4 スケジュールを編集する

[タイムテーブル一覧] をクリックします。

⇒ [スケジュール作成] 画面が表示されます。



タイムテーブル一覧をクリックすると、スケジュール表には今月のスケジュールが表示されます。

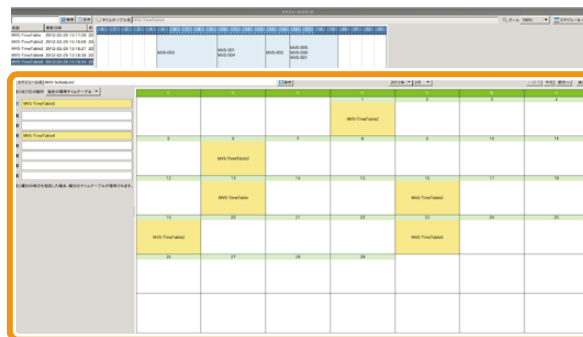


[タイムテー
ブル一
覧] をクリック

<手順4の続き>

タイムテーブル一覧から任意のタイムテーブルをスケジュール表にドラッグ&ドロップします。

詳しい操作方法は、「4.3 スケジュールの作成」(51ページ)を参照してください。



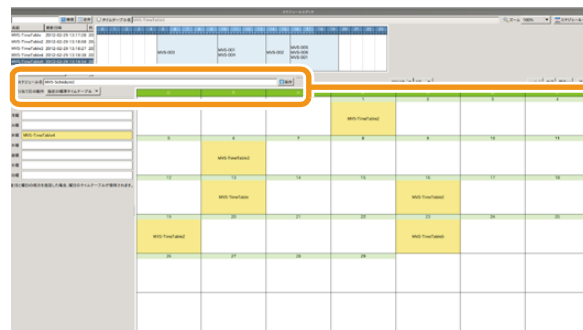
スケジュール
を編集

5 保存する

「スケジュール名」欄には、編集前のスケジュール名が表示されています。上書き保存する場合は、そのまま「保存」をクリックします。

別名で保存する場合は、スケジュール名を編集後、「保存」をクリックします。

➤ スケジュールが保存されます。



スケジュール
名を入力して、
[保存]を
クリック



以下の文字はスケジュール名に使用できません。

’ ¥ %

6.6.2 スケジュールを削除するには

ここでは、スケジュールを削除する方法について説明します。

1 「EMPopMaker プレイヤー版」を起動する

メニューエリアで「コンテンツ」をクリックします。

➤ 「コンテンツ」画面が表示されます。



「コンテンツ」を
クリック

「コンテンツ」画面で、「MVSコンテンツ管理ツール」の「実行」をクリックします。

➤ 「メインメニュー」画面が表示されます。



「実行」を
クリック

2 スケジュールの作成・編集を起動する

「EMPopMaker プレイヤー版」の［メインメニュー］画面で［スケジュールの作成・編集］をクリックします。

➤ 「スケジュール作成」画面が表示されます。

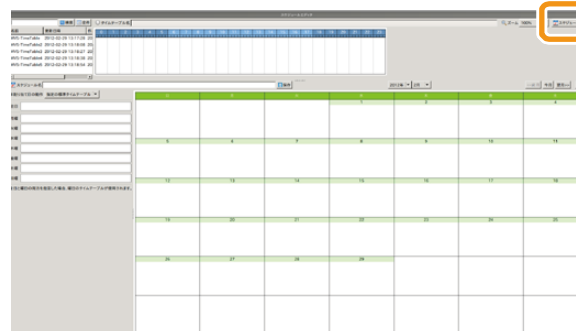


「スケジュールの作成・編集」をクリック

3 スケジュールを削除する

「スケジュール一覧」をクリックします。

➤ 「スケジュール一覧」画面が表示されます。

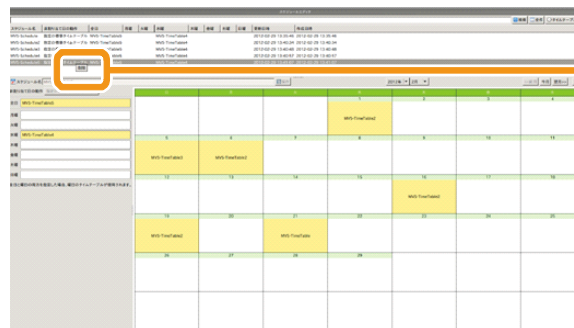


「スケジュール一覧」をクリック

<手順3の続き>

スケジュール一覧で、削除するスケジュールを右クリックし、[削除] をクリックします。

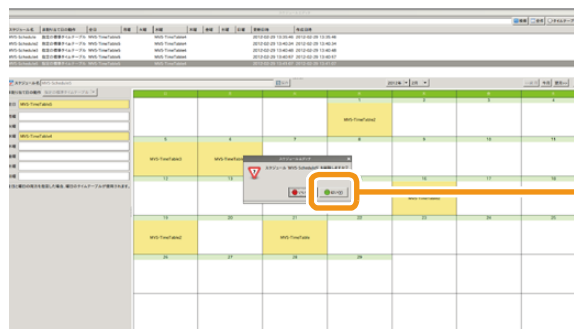
➤ 削除確認ダイアログが表示されます。



削除する
スケジュール
を右クリック

削除確認ダイアログで、[はい] をクリックします。

➤ スケジュールが削除されます。



[はい] を
クリック

6.6.3 スケジュールを確認するには

ここでは、作成したスケジュールの確認方法について説明します。

1 「EMPopMaker プレイヤー版」を起動する

メニューエリアで「コンテンツ」をクリックします。

➤ 「コンテンツ」画面が表示されます。



「コンテンツ」を
クリック

「コンテンツ」画面で、「MVSコンテンツ管理ツール」の「実行」をクリックします。

➤ 「メインメニュー」画面が表示されます。



「実行」を
クリック

2 スケジュールの作成・編集を起動する

「EMPopMaker プレイヤー版」の「メインメニュー」画面で「スケジュールの作成・編集」をクリックします。

➤ 「スケジュール作成」画面が表示されます。

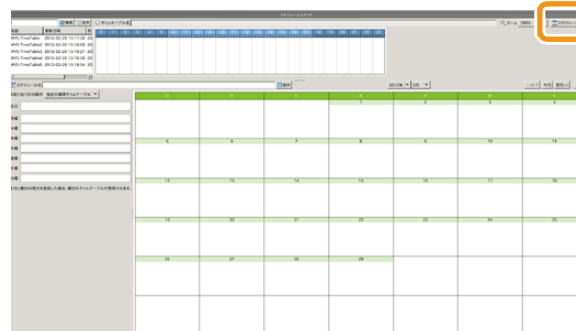


「スケジュールの作成・編集」をクリック

3 スケジュールを確認する

「スケジュール一覧」をクリックします。

➤ 「スケジュール一覧」画面が表示されます。

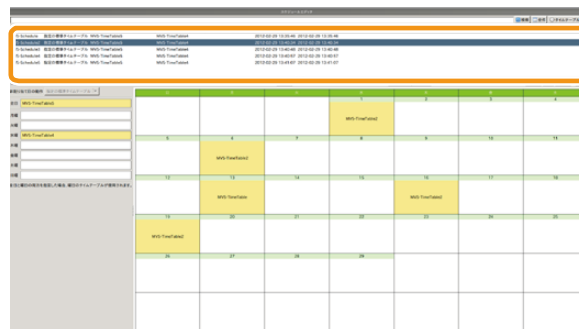


「スケジュール一覧」をクリック

<手順3の続き>

スケジュール一覧から確認したいスケジュールを選択します。

➤ スケジュール表にスケジュールが表示されます。



The screenshot shows a software interface with a list of schedules on the left and a grid view on the right. The list contains several entries, each with a date and time range. One entry is highlighted in blue. An orange box surrounds the list, and an arrow points from it to a callout box on the right. The grid view shows a calendar-like layout with dates and times, and some cells are highlighted in yellow.

スケジュール名	開始日時	終了日時
スケジュール1	2019/01/01 10:00:00	2019/01/01 11:00:00
スケジュール2	2019/01/01 11:00:00	2019/01/01 12:00:00
スケジュール3	2019/01/01 12:00:00	2019/01/01 13:00:00
スケジュール4	2019/01/01 13:00:00	2019/01/01 14:00:00
スケジュール5	2019/01/01 14:00:00	2019/01/01 15:00:00

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1月																															
2月																															
3月																															
4月																															
5月																															
6月																															
7月																															
8月																															
9月																															
10月																															
11月																															
12月																															

確認したい
スケジュール
をクリック

7. その他の情報

「MIRACLE VISUAL STATION」を使用して、疑問点およびトラブルが発生したときのために、「よくある質問」「困ったときには」をまとめました。



ここでは、一般的な質問およびトラブルシューティングを集めました。より詳しい情報を以下のホームページで公開しておりますので、ご参照ください。


ミラクル・リナックスホームページ

<https://www.miraclelinux.com/jp/online-service/faq>

7.1 よくある質問

質 問	回 答
動画が再生できない。	<p>本製品に対応するファイル形式かどうかを確認してください。</p> <p>再生できるファイル形式については、「1.5.1 再生できる動画・音声ファイルの形式」(23ページ)を参照してください。</p> <p>音声付きH.264動画(拡張子:mov)の場合、拡張子を「m4v」に変更して音声なしで再生してください。</p> <p>また、拡張子を「movsw」または「m4vsw」に変更して再生すると、映像が表示されることがありますが、動画の品質は低下します。</p>
静止画が表示されない。	<p>本製品が対応するファイル形式かどうかを確認してください。</p> <p>再生できるファイル形式については、「1.5.2 再生できる静止画ファイルの形式」(24ページ)を参照してください。</p>

質 問	回 答
<p>3分割のコンテンツを作成したが 左側の動画（静止画）が小さく表示される。</p>	<p>コンテンツの作成・編集時、「プロパティ」ダイアログから各フレームのサイズを設定することができます。詳しくは、「6.4.4 コンテンツ全体の詳細な設定をするには」（107ページ）の手順1～3を参照してください。</p> <p>なお、フレームサイズの指定がない場合、3分割レイアウトのコンテンツでは、右側のフレームの静止画を優先して表示します（下図参照）。フレームサイズを指定しない場合は、右側のフレームには縦長の静止画を指定してください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>フレーム2に横長画像を指定した場合 （フレームサイズの指定なし）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>フレーム2に縦長画像を指定した場合 （フレームサイズの指定なし）</p> </div> </div>
<p>コンテンツ再生中にUSBメモリを接続すると どうなる？</p>	<p>システム設定の「外部ストレージからの自動再生」が「有効」となっている場合、再生中のコンテンツを中断し、USBメモリの自動再生に切り替わります。</p> <p>USBメモリを抜くとコンテンツ再生が終了し、メニュー画面が表示されます。</p>
<p>再生できるファイル形式は？</p>	<p>再生できるファイル形式については、「1.5.1 再生できる動画・音声ファイルの形式」（23ページ）および「1.5.2 再生できる静止画ファイルの形式」（24ページ）を参照してください。</p>
<p>勝手に再起動した。</p>	<p>自動復旧機能が作動したためです。</p>
<p>どういうときに自動復旧する？</p>	<p>フリーズを検知したときです。万一フリーズしてしまった場合でも、再起動により自動的に復旧します。</p>

質 問	回 答
<p>画像に黒い帯が入る。</p>	<p>コンテンツの縦横比（アスペクト比）を確認してください。 コンテンツの縦横比がディスプレイの設定と一致していない場合、黒い帯が表示されることがあります。 たとえば16:9のワイドディスプレイに4:3の写真を表示させると、写真の両脇に黒い帯が表示されます。</p> 
<p>共有したコンテンツディレクトリの中に、 「.」で始まるファイル、ディレクトリが表示される。</p>	<p>「MVSプレイヤー」で使用するファイルです。削除しないでください。 エクスプローラーですべてのファイルとフォルダを表示するように設定していると表示されます。</p>

7.2 困ったときには

問 題	対処方法
画面表示がおかしい。	<p>ディスプレイと本製品が正しく接続されているかどうかを確認してください。</p> <p>画面設定の「解像度の設定」で「自動」を選択している場合、接続するディスプレイによっては最適な解像度が選択されることがあります。「解像度の設定」で「選択」を選択して最適な解像度が得られるか試してください。</p> <p>本製品はインターレース方式のディスプレイには対応していません。お使いのディスプレイがインターレース方式かどうかについては、ディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。</p> <p>接続するディスプレイについては、「2.1 用意するもの」(25ページ)を参照してください。</p>
画面の色がおかしい。	<p>ディスプレイと本製品が正しく接続されているかどうかを確認してください。</p> <p>ケーブル接続端子を正しく接続していない場合、接触不良により発色がおかしくなることがあります。</p> <p>ディスプレイの色合いの設定を確認してください。操作方法については、お使いのディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。</p>
画面が真っ暗になる。	<p>ディスプレイと本製品が正しく接続されているかどうかを確認してください。ディスプレイによっては、ケーブルを抜き差しすることで映らなくなる場合があります。本製品の電源を一度切り、ディスプレイと正しく接続した状態で本製品の電源を入れ直すと改善する場合があります。</p> <p>「画面設定」画面の「解像度の設定」を変更すると改善する場合があります。本製品にUSBキーボードを接続し、画面解像度設定のショートカットキーを試してください。画面解像度の変更が反映されるには時間がかかります。ショートカットキーを押した後は、変更が反映されるまで10秒間ほどお待ちください。ショートカットキーについては、次表の「7.3 画面解像度設定のショートカットキー」(159ページ)を参照してください。</p>
画面の端が切れる。	<p>ディスプレイのオーバースキャンの設定を変更してください。操作方法については、お使いのディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。</p> <p>ディスプレイの中には表示にオーバースキャン方式を使用し、表示される画像の周辺部を切り落としているものがあります。メーカーによって「オーバースキャン方式」という用語は変わる場合があります。取扱説明書の中には「PCと接続する」や「Dot by dot」、「アンダースキャン」といった用語で記載されているものもあります。</p>

問 題	対処方法
起動時のロゴ画面が崩れる。	<p>起動時のロゴはVGAという解像度で表示しています。</p> <p>ディスプレイの中にはVGAに対応していないものもありますが、起動完了後にはディスプレイに対応した画面解像度に自動的に切り替わるため問題ありません。</p>
【ファイル選択】画面に外部ストレージメディア（USBメモリなど）の情報が表示されない。	<p>外部ストレージメディアを抜き差ししてください。または、別のUSBポートに接続してください。</p>
音が出ない。	<p>本製品が対応している音声入力端子を持つディスプレイまたはスピーカーに接続しているかどうかを確認してください。お使いの機種によってHDMI端子、RCA端子、ミニプラグで音声出力するものがあります。</p> <p>HDMI接続すると音声が出力されない機種があります。その場合は、音声用にライン出力端子を使用してください。</p> <p>お使いの機種がどの端子に対応しているのかは弊社サポートサイトをご確認ください。</p>
USBメモリが自動で再生されない。	<p>「外部ストレージからの自動再生」(31ページ)が有効かどうかを確認してください。</p> <p>コンテンツ作成・編集・削除中は上記設定にかかわらず、USBメモリを接続しても自動再生は行われません。</p>
複数台でコンテンツ共有したが、「マイ ネットワーク」に1台しか表示されない。	<p>複数台でコンテンツ共有を行う場合は、システム設定でそれぞれに異なる端末名を設定してください。</p> <p>初期設定では端末名はすべて「miracle」になっています。</p>
動画が再生できない。	<p>「1.5.1 再生できる動画・音声ファイルの形式」(23ページ)を参照し、対応しているコンテナ形式、動画コーデック、音声コーデックを確認してください。</p> <p>音声コーデックが対応していない形式の場合（たとえばAC-3、MP3など）、音声なしの動画だけ再生できる可能性があります。拡張子を音声なしのものに変更して再生を試してみてください。</p> <p>また、再生方式にソフトウェアを使用すると、再生できる可能性のあるファイルが増えます。拡張子を変更して試してみてください。</p>
コンテンツが保存できない。	<p>コンテンツフォルダの残容量が少なくなっていると思われます。ファイルを削除してリトライしてください。</p>

7.3 画面解像度設定のショートカットキー

解像度（長辺×短辺）	リフレッシュレート	ショートカットキー
640×480	59.94 Hz	Ctrl + Alt + Shift + 0
720×480	59.94 Hz	Ctrl + Alt + Shift + 1
1280×720	59.94 Hz	Ctrl + Alt + Shift + 2
1920×1080	59.94 Hz	Ctrl + Alt + Shift + 3
720×480	60 Hz	Ctrl + Alt + Shift + 4

解像度（長辺×短辺）	リフレッシュレート	ショートカットキー
1280×720	60 Hz	Ctrl + Alt + Shift + 5
1920×1080	60 Hz	Ctrl + Alt + Shift + 6
640×480	自動判定	Ctrl + Alt + Shift + V
自動判定	自動判定	Ctrl + Alt + Shift + A

MIRACLE VISUAL STATION 取扱説明書

ver.1.3.0

MIRACLE LINUX の名称およびロゴは、ミラクル・リナックス株式会社の登録商標です。

Linux[®]は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。会社名、商品名等は各社の商標または登録商標です。

本製品には Fluendo 社提供のソフトウェアや、オープンソースのソフトウェアが含まれています。

ソフトウェアの著作権などに関する情報は以下を参照ください。

<http://www.miraclelinux.com/online-service/download/manual/docs/fluendo-gpl>

